

第3章 公共交通に関する市民意見

1. アンケート調査調査概要

(1) 実施内容

- ・市民アンケート調査、公共交通利用者アンケート調査、新駅設置予定地周辺住民アンケート調査の3種類を実施し、公共交通に関する市民意見を把握した。

(2) 調査期間

	調査期間
市民アンケート調査 新駅設置予定地周辺住民アンケート調査	平成28年10月17日(月)～平成28年10月30日(日)
公共交通利用者アンケート調査	平成28年10月20日(木)、10月22日(土)～平成28年10月30日(日)

(3) 調査対象

	調査対象
市民アンケート調査	15歳以上の糸魚川市民から無作為に抽出
公共交通利用者アンケート調査	糸魚川市内の主要駅、停留所の利用者に配布 ※平成27年度における鉄道、バス乗降調査結果より利用者の多い駅、停留所を抽出し選定。
新駅設置予定地周辺住民アンケート調査	15歳以上の糸魚川市民で、新駅設置予定地周辺にお住まいの方から無作為に抽出

※公共交通利用者アンケート調査配布場所及び配布日数

	配布場所	10月20日 (木)	10月22日 (土)
北陸新幹線	「糸魚川駅」改札口前	342	245
鉄道	えちごトキめき鉄道及びJR大糸線「糸魚川駅」改札口前	320	538
	えちごトキめき鉄道「能生駅」	228	76
	えちごトキめき鉄道「青梅駅」	97	49
バス	「糸魚川駅日本海口」バス停前	225	49
	「糸魚川駅アルプス口」バス停前	14	17
	「糸魚川総合病院」バス停前	70	39
	「能生案内所」バス停前	61	67
	「横町五丁目」バス停前	52	24
	計	1,409	1,104

(4) 実施方法

	実施方法
市民アンケート調査 新駅設置予定地周辺住民アンケート調査	アンケート票の郵送、同封の返信用封筒にて回収
公共交通利用者アンケート調査	改札を通る乗降客、または停留所でバスを利用する乗降客に手渡しにて配布、同封の返信用封筒にて回収

(5) 配布数・回収数・回収率

	配布数	回収数	回収率
市民アンケート調査	1,000	470	47.0%
公共交通利用者アンケート調査	2日間合計：2,513	627	25.0%
	10月20日(木)：1,409		
	10月22日(土)：1,104		
新駅設置予定地周辺住民アンケート調査	2駅周辺合計：2,000	906	45.3%
	内訳：今村新田駅周辺 1,000	483	48.3%
	押上駅周辺 1,000	420	42.0%
		(不明) 3	
合計	5,513	2,003	36.3%

※新駅設置予定地周辺住民アンケート調査の回収数は、2駅どちらかの特定が出来なかったものが、3通あったため、合計が一致しない。
※速報版集計後に回収したアンケートを追加して集計した。

(6) 集計結果の表記について

- ・設問の後ろに (SA)、(MA)、(FA) と表記している。これは、それぞれの質問の回答方法を示しており、SA⇒単数回答 (Single Answer)、MA⇒複数回答 (Multi Answer)、FA⇒自由筆記 (Free Answer) を意味する。
- ・回答結果の割合 (%) は、サンプル数に対する回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入しており、合計が 100% にならない場合がある。
- ・回答結果の図表中で「無回答」としているものは、その設問に対して回答されていないもの、回答方法が誤っているもの、判読が困難なものの総計である。
- ・設問、回答項目は一部省略して表記することがある。

(7) アンケート調査結果の構成について

- ・今回実施した 3 種類のアンケートは共通の設問があるため、共通の設問は出来る限りまとめて記載している。そのため、各アンケートの問の順番と結果記載の順番が異なる場合がある。
- ・また、調査結果の各設問の見出しに、
【共通：市・問 1 利・問 1 駅・問 1】 の様に、各アンケートの問番号との対応を記載している。

2. アンケート調査結果

回答者の属性

(1) 性別 (SA) 【共通：市・問1 利・問1 駅・問1】

■全回答者の52.2%が「女性」、45.0%が「男性」。

(2) 年齢 (SA) 【共通：市・問2 利・問2 駅・問2】

■各アンケート共通して「65～69歳」が最も多い。「60歳以上」の回答は、それぞれの約5割を占める。
■利用者アンケートでは市民アンケート、新駅周辺アンケートより「15～19歳」の割合が高い。

(3) 職業 (SA) 【共通：市・問3 利・問3 駅・問3】

■通勤・通学が発生すると考えられる職業（「会社員・団体職員」「公務員」「大学生・専門学校生」「高校生」）を合わせると、市民アンケート29.4%、利用者アンケート43.5%、今村新田駅周辺30.4%、押上駅周辺36.2%。今村新田駅周辺、押上駅周辺は糸魚川市の中でも「通勤・通学」における需要が期待できる地域である。

(4) 居住地 (SA) 【共通：市・問4 利・問4 駅・問4】

■市民アンケート、利用者アンケートともに「糸魚川地域」が最も多く、次いで「能生地域」、「青海地域」の順。
■新潟県内からの利用者は6.7%、県外からの利用者は11.5%であった。
■今村新田駅予定地周辺の回答は53.3%、押上駅予定地周辺の回答は46.4%。
■地区別にみると市民アンケート、利用者アンケートともに能生地域では「能生」、糸魚川地域では「糸魚川」、青海地域では「田沢」の割合が高い。押上駅周辺では各地区に回答が分散しているが、今村新田駅周辺では、「須沢」に回答が集中している。

(5) 同居の状況 (MA、ALL) 【共通：市・問5 利・問5 駅・問5】

■各アンケート共通して「配偶者」の割合が最も高い。次いで、「自分の親」、「小学生～高校生」、「大学生以上」の割合が高い。今村新田駅周辺、押上駅周辺では市民アンケートよりも「小学生～高校生」の割合が高く、子育て世代が多いと考えられる。

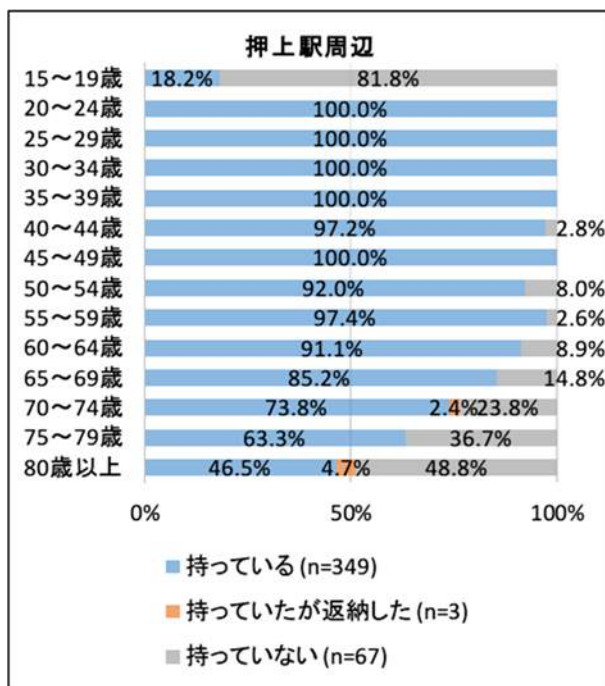
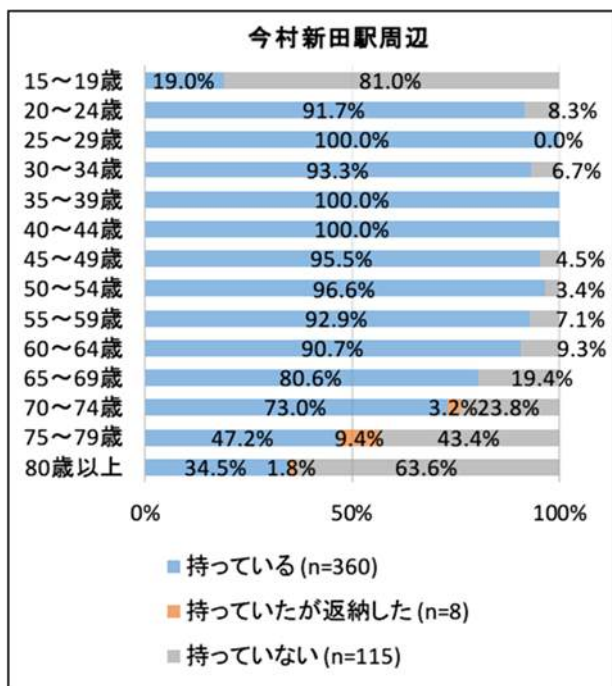
(6) 自動車の保有状況 (SA) 【共通：市・問6 利・問6 駅・問6】

■「自分で自由に使える車を持っている」割合は市民アンケート66.4%、利用者アンケート46.5%である。利用者アンケートは市民アンケートよりも「自分で自由に使える車を持っている」割合が低い。一方で、押上駅周辺では市民アンケートよりも「自分で自由に使える車を持っている」割合が78.1%と高い。
■押上駅周辺の「車を持っていない」割合は、市民アンケート、利用者アンケート、今村新田駅周辺よりも低い。押上駅周辺は、糸魚川市内でも自動車での移動ニーズが高い地区であると考えられる。

(7) 運転免許の有無 (SA) 【共通：市・問7 利・問7 駅・問7】

- 運転免許を「持っていたが返納した」または「持っていない」割合は、利用者アンケートでは回答者の43.5%を占める。他アンケートでは、「持っていたが返納した」または「持っていない」割合は市民アンケート24.5%、今村新田駅周辺25.5%、押上駅周辺16.7%と公共交通利用者は運転免許を持っていない割合が高い。
- 今村新田駅周辺、押上駅周辺での運転免許の有無を年齢別にみる。今村新田駅周辺、押上駅周辺ともに「持っていたが返納した」とした方は、「70歳以上」であった。今村新田駅周辺では運転免許を「持っている」は「40～44歳」をピークに減少し、「持っていない」の割合が増加する。押上駅周辺では運転免許を「持っている」は「45～49歳」をピークに減少し、「持っていない」の割合が増加する。

年齢×運転免許の有無（新駅周辺アンケート）



(8) 自宅の最寄駅 (FA) 【共通：市・問8 利・問8 駅・問15】

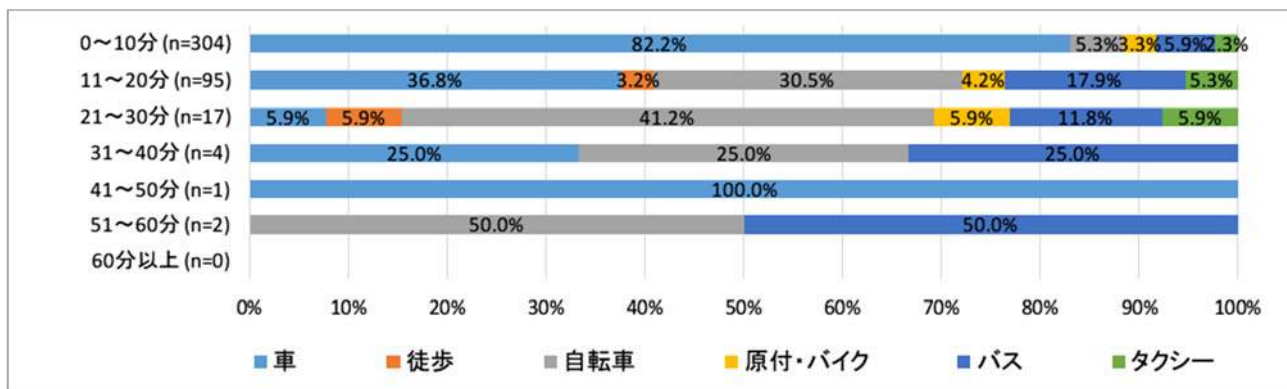
- 自宅の最寄駅は市民アンケート、利用者アンケートでは「糸魚川」が最も高く、次いで「能生」、「青海」の順。JR大糸線沿線駅への回答は、市民アンケート、利用者アンケートともに5%以下であった。
- 移動手段は、市民アンケート、今村新田駅周辺、押上駅周辺では、「車」が最も高い。一方、利用者アンケートでは、「徒歩」が最も高い。「バス」への回答割合は、各アンケート共通して低い。
- 所要時間は各アンケートで「0～10分」が最も高く、次いで「11～20分」。
- 移動手段と所要時間についてみると、「0～10分」で回答した割合が最も高い移動手段は「車」であり、今村新田駅周辺82.2%、押上駅周辺86.3%。「11～20分」以降では、今村新田駅周辺、押上駅周辺ともに「徒歩」「自転車」の割合が増加している。

自宅の最寄駅までの所要時間

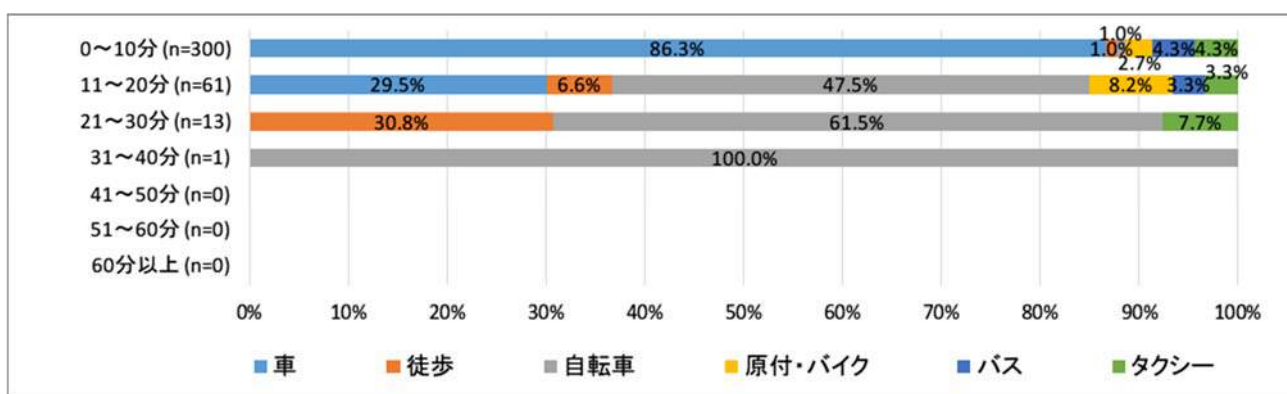
項目	市民アンケート (n=469)		利用者アンケート (n=504)		新駅周辺アンケート			
	回答数	割合	回答数	割合	今村新田駅周辺 (n=479)		押上駅周辺 (n=418)	
					回答数	割合	回答数	割合
0～10分	309	65.9%	311	59.7%	304	63.5%	300	71.8%
11～20分	83	17.7%	81	17.3%	95	19.8%	61	14.6%
21～30分	13	2.8%	21	4.0%	17	3.5%	13	3.1%
31～40分	4	0.9%	5	1.1%	4	0.8%	1	0.2%
41～50分	0	0.0%	2	0.3%	1	0.2%	0	0.0%
51～60分	0	0.0%	1	0.2%	2	0.4%	0	0.0%
60分以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	60	12.8%	83	16.5%	56	11.7%	43	10.3%
合計	469	100%	504	100%	479	100%	418	100%

※自由回答したものを一定の区分で集計した
 ※(8) 自宅の駅「最も近い駅を知らない」回答者は除く。利用者アンケートは、糸魚川市外の居住者を除く。

移動手段×自宅の最寄駅までの所要時間（新駅周辺アンケート：今村新田駅周辺）



移動手段×自宅の最寄駅までの所要時間（新駅周辺アンケート：押上駅周辺）



(9) 新駅整備後の自宅の最寄駅 (SA) 【駅・問16】

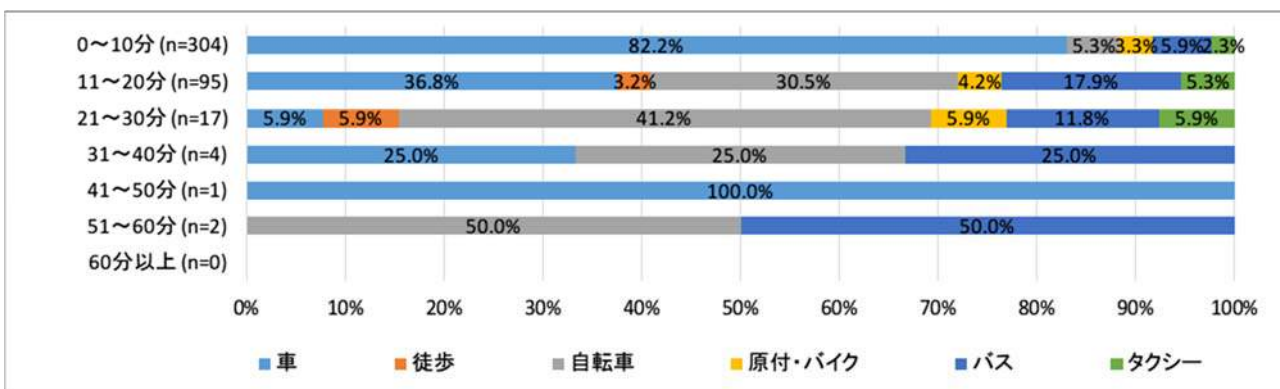
- 今村新田駅周辺では、新駅整備後に自宅最寄駅が変わる割合は 75.2%。押上駅周辺では、新駅整備後の自宅最寄駅が変わる割合は 73.6%。新駅整備により最寄駅が変わる割合は、回答者の約 7 割である。
- 新駅整備に伴う駅への移動手段の変化について、今村新田駅周辺では、「車」が 33.5%減少し、「徒歩」が 36.5%増加している。また、押上駅周辺では、「車」が 28.5%減少し、「徒歩」が 24.2%増加している。新駅整備により、今村新田駅周辺、押上駅周辺ともに、「車」の利用が約 3 割程度減少する。
- 所要時間では、今村新田駅周辺は整備前に比べて「0～10分」の割合が 4.6%高くなり、「11分以上」の割合が減少している。押上駅周辺では「0～10分」は 0.6%高くなった。
- 移動手段と所要時間についてみる。今村新田駅周辺では「0～10分」と回答した人は「徒歩」41.2%、「車」39.9%であり、整備前よりも「徒歩」の割合が高くなっている。押上駅周辺も同様に、「0～10分」と回答した人は、「車」52.3%、「徒歩」30.9%であり、整備前よりも「徒歩」の割合が高くなっている。

新駅整備前後の自宅の最寄駅までの移動手段の比較

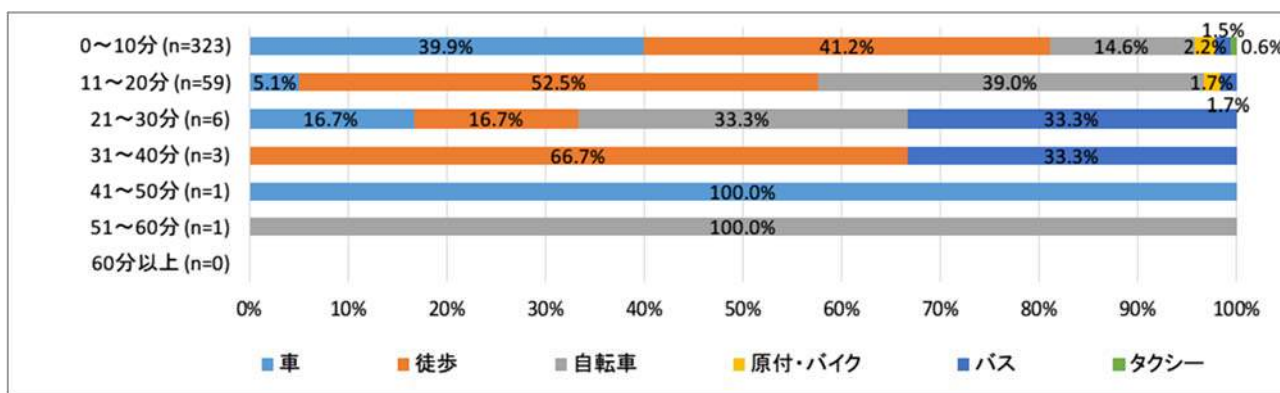
項目	今村新田駅周辺(n=483)				押上駅周辺(n=420)			
	整備前	整備前割合	整備後	整備後割合	整備前	整備前割合	整備後	整備後割合
車	304	63.5%	→ 145	30.0%	287	68.7%	→ 169	40.2%
徒歩	4	0.8%	→ 180	37.3%	12	2.9%	→ 114	27.1%
自転車	54	11.3%	→ 75	15.5%	43	10.3%	→ 56	13.3%
原付・バイク	15	3.1%	8	1.7%	15	3.6%	5	1.2%
バス	41	8.6%	9	1.9%	15	3.6%	6	1.4%
タクシー	16	3.3%	4	0.8%	19	4.5%	11	2.6%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	45	9.4%	62	12.8%	27	6.5%	58	14.0%
合計	483	100%	483	100%	420	100%	420	100%

※移動手段を 2 つ以上回答した場合、1 つ目に記載されたものを集計した
 ※ (8) 自宅から最も近い駅「最も近い駅を知らない」回答者は除く

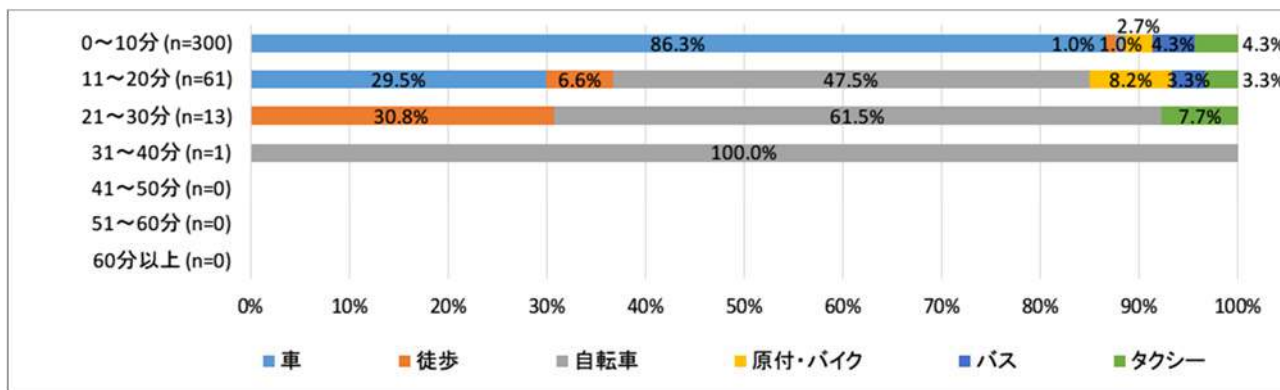
移動手段×自宅の最寄駅までの所要時間（新駅周辺アンケート：今村新田駅周辺）※再掲



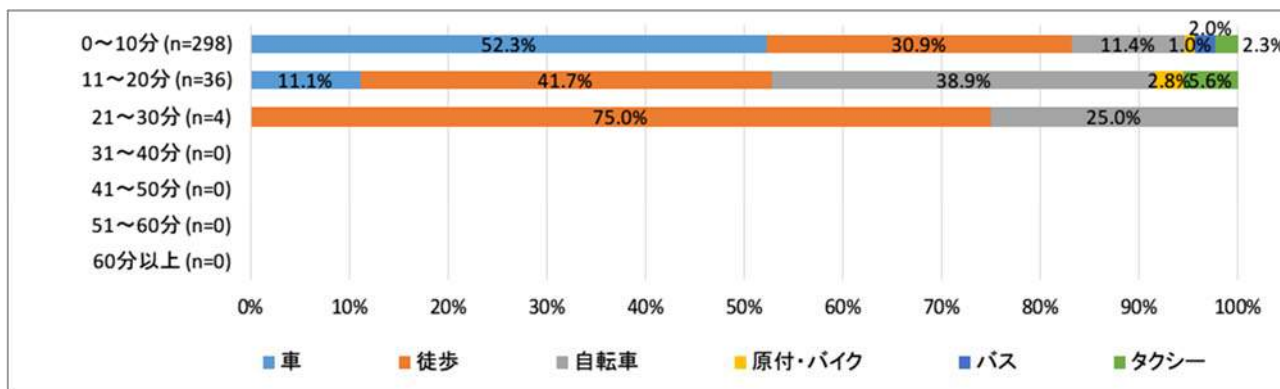
新駅整備後の自宅最寄駅への移動手段×所要時間（新駅周辺アンケート：今村新田駅周辺）



移動手段×自宅の最寄駅までの所要時間（新駅周辺アンケート：押上駅周辺）※再掲

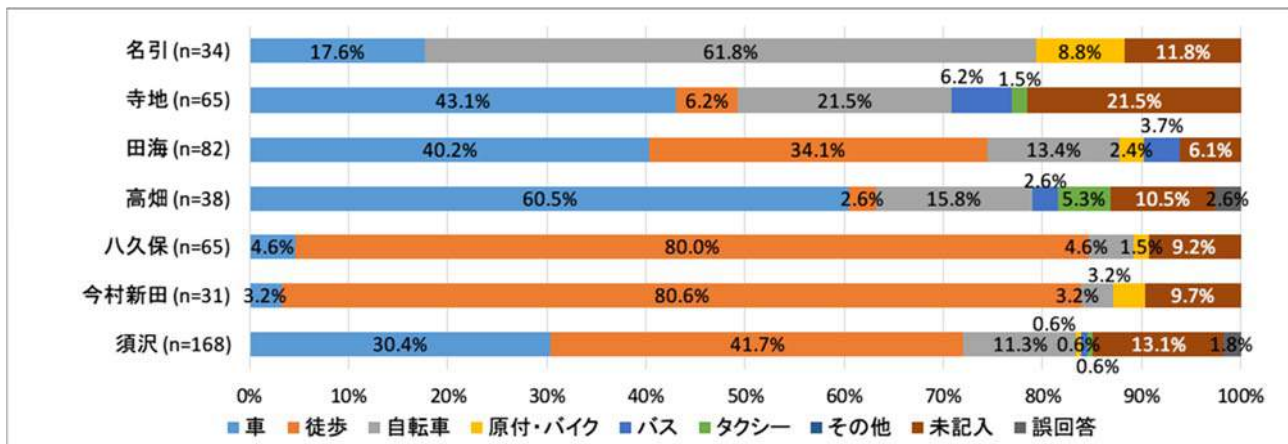


新駅整備後の自宅最寄駅への移動手段×所要時間（新駅周辺アンケート：押上駅周辺）

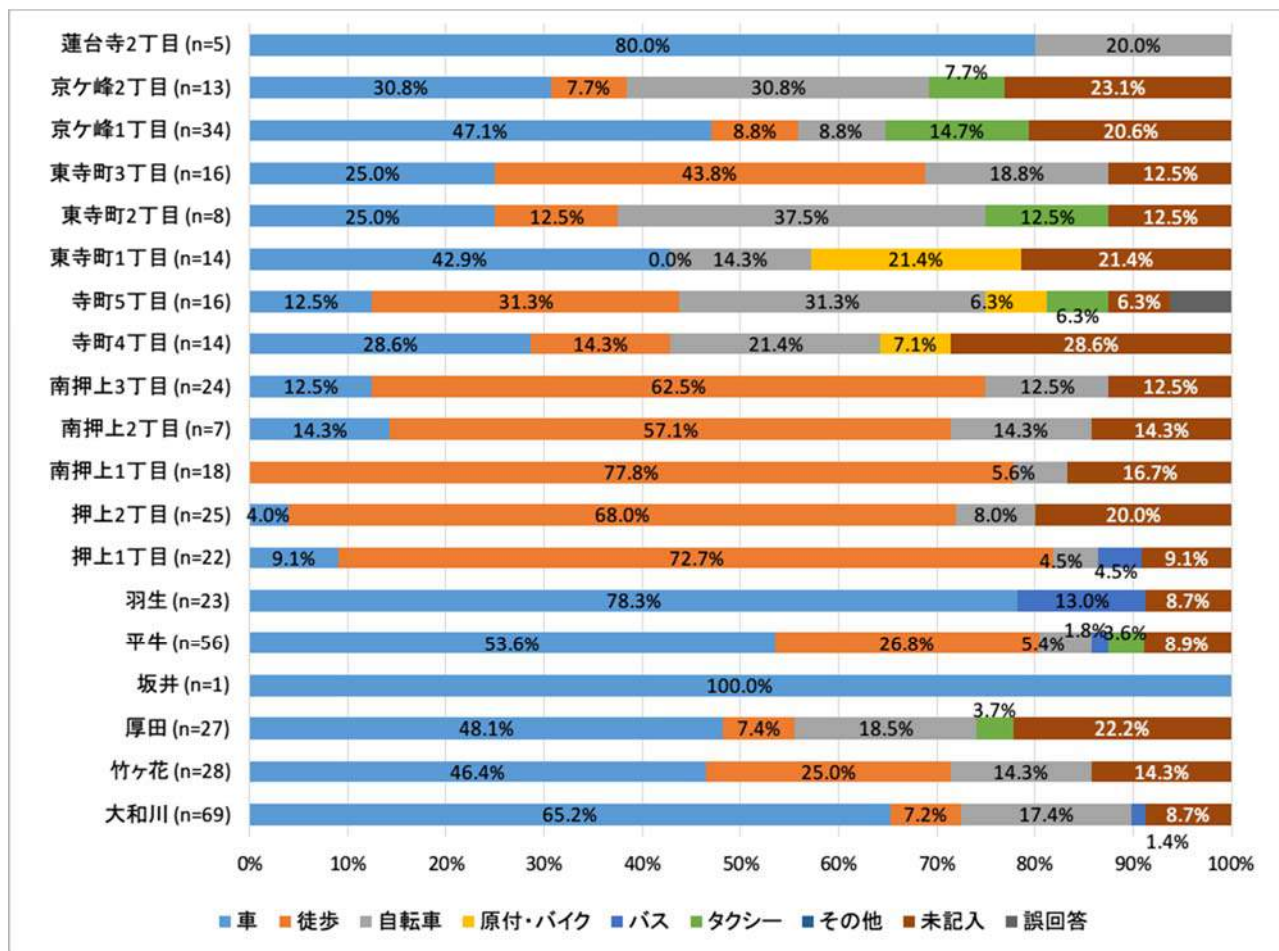


- 整備後の移動手段を居住地別にみる。今村新田駅周辺では新駅から距離がある「高畑」、「田海」、「寺地」で「車」の割合が4～6割を占める。「須沢」は比較的新駅予定地から近いものの「車」が30.4%。「名引」は、新駅から距離があるため「徒歩」の回答はないが、他の地区と比べて「自転車」の割合が高い。
- 押上駅周辺では、新駅から距離がある「大和川」、「竹ヶ花」、「厚田」、「坂井」、「平牛」、「羽生」、「蓮台寺」で「車」の割合が高い。新駅予定地から近い「押上」「南押上」では、「徒歩」の割合が5割を超えている。

新駅整備後の自宅最寄駅への移動手段×居住地（新駅周辺アンケート：今村新田駅周辺）



新駅整備後の自宅最寄駅への移動手段×居住地（新駅周辺アンケート：押上駅周辺）



(10) 自宅の最寄バス停 (SA) 【共通：市・問9 利・問9 駅・問8】

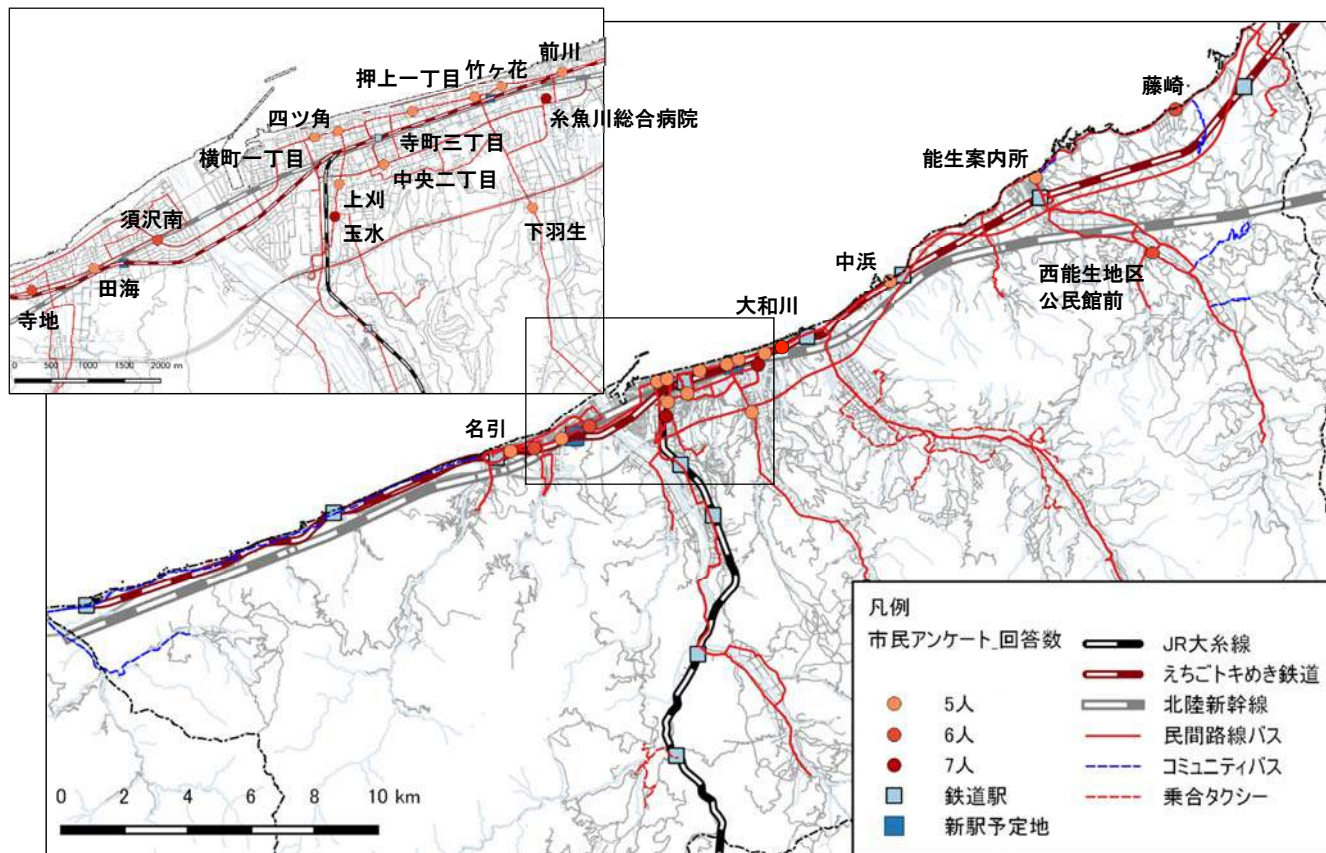
- 市民アンケートでは、「糸魚川総合病院」「玉水」の回答が最も多く、次いで「須沢南」、「寺地」、「西能生地区公民館前」、「藤崎」、「大和川」となる。バス停までの所要時間は、各バス停で「0～10分」の回答が多い。
- 1つ以上の回答があったバス停では、回答は市内のバス路線沿線に分散している。
- バス停までの所要時間は各アンケート共通して「0～10分」が最も高く、回答者数の約7～8割を占める。
- 各アンケート共通して「20分以上」の割合は5%未満である。

自宅の最寄バス停名_上位10位 (市民アンケート)

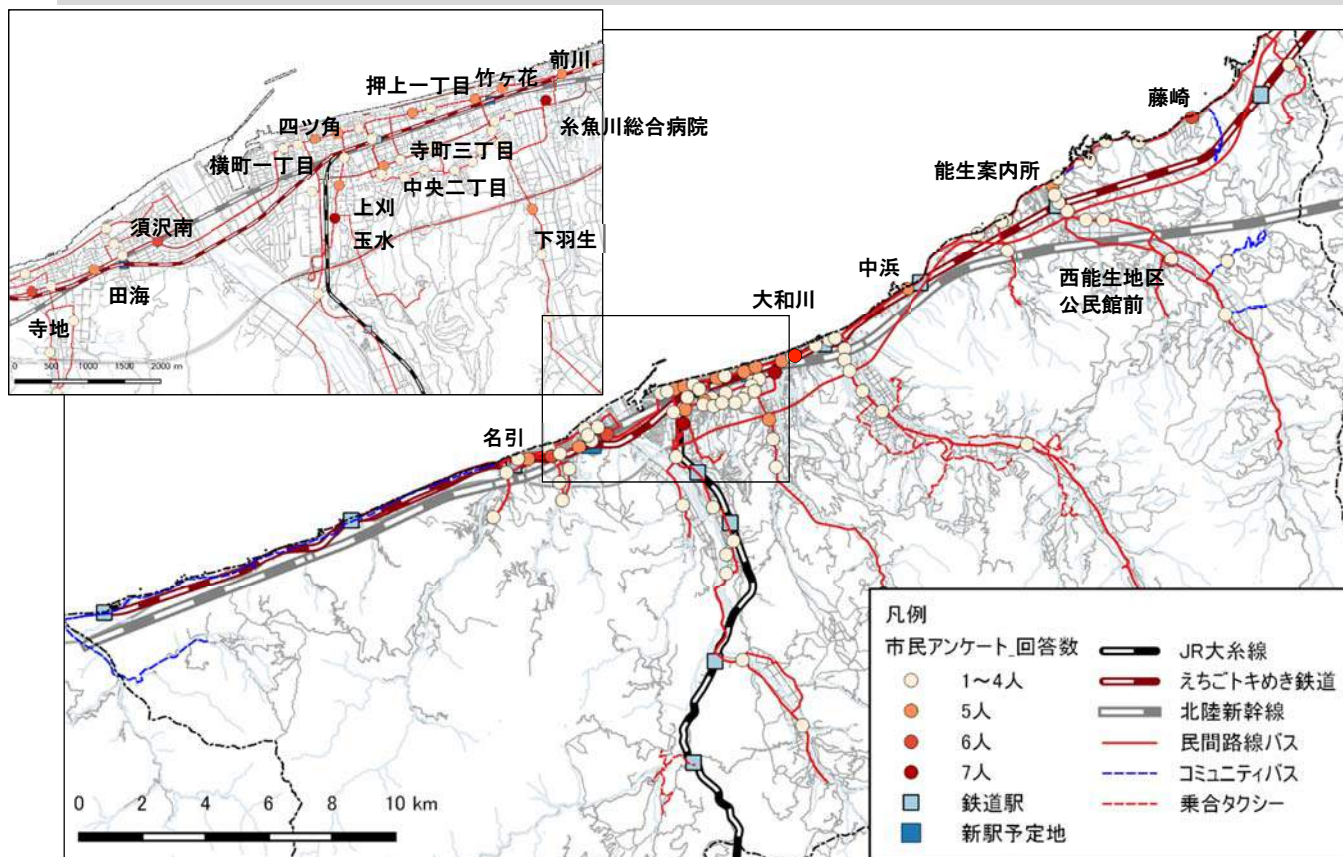
項目	回答数	0～10分	11～20分	21～30分	31～40分	41～50分	51～60分	60分以上	未記入
糸魚川総合病院	7	5	2	0	0	0	0	0	0
玉水	7	5	1	0	0	0	0	0	1
須沢南	6	4	2	0	0	0	0	0	0
寺地	6	6	0	0	0	0	0	0	0
西能生地区公民館前	6	6	0	0	0	0	0	0	0
藤崎	6	6	0	0	0	0	0	0	0
大和川	6	6	0	0	0	0	0	0	0
押上一丁目	5	5	0	0	0	0	0	0	0
上刈	5	5	0	0	0	0	0	0	0
下羽生	5	5	0	0	0	0	0	0	0
田海	5	3	2	0	0	0	0	0	0
竹ヶ花	5	4	0	0	0	0	0	0	1
中央二丁目	5	5	0	0	0	0	0	0	0
寺町三丁目	5	5	0	0	0	0	0	0	0
中浜	5	4	0	0	0	0	0	0	1
名引	5	5	0	0	0	0	0	0	0
能生案内所	5	4	1	0	0	0	0	0	0
前川	5	4	1	0	0	0	0	0	0
横町一丁目	5	4	0	0	0	0	0	0	1
四ツ角	5	5	0	0	0	0	0	0	0

※154のバス停に対して回答があった。

■自宅の最寄バス停_上位10位プロット図（市民アンケート）



■自宅の最寄バス停_回答のあった全バス停（市民アンケート）



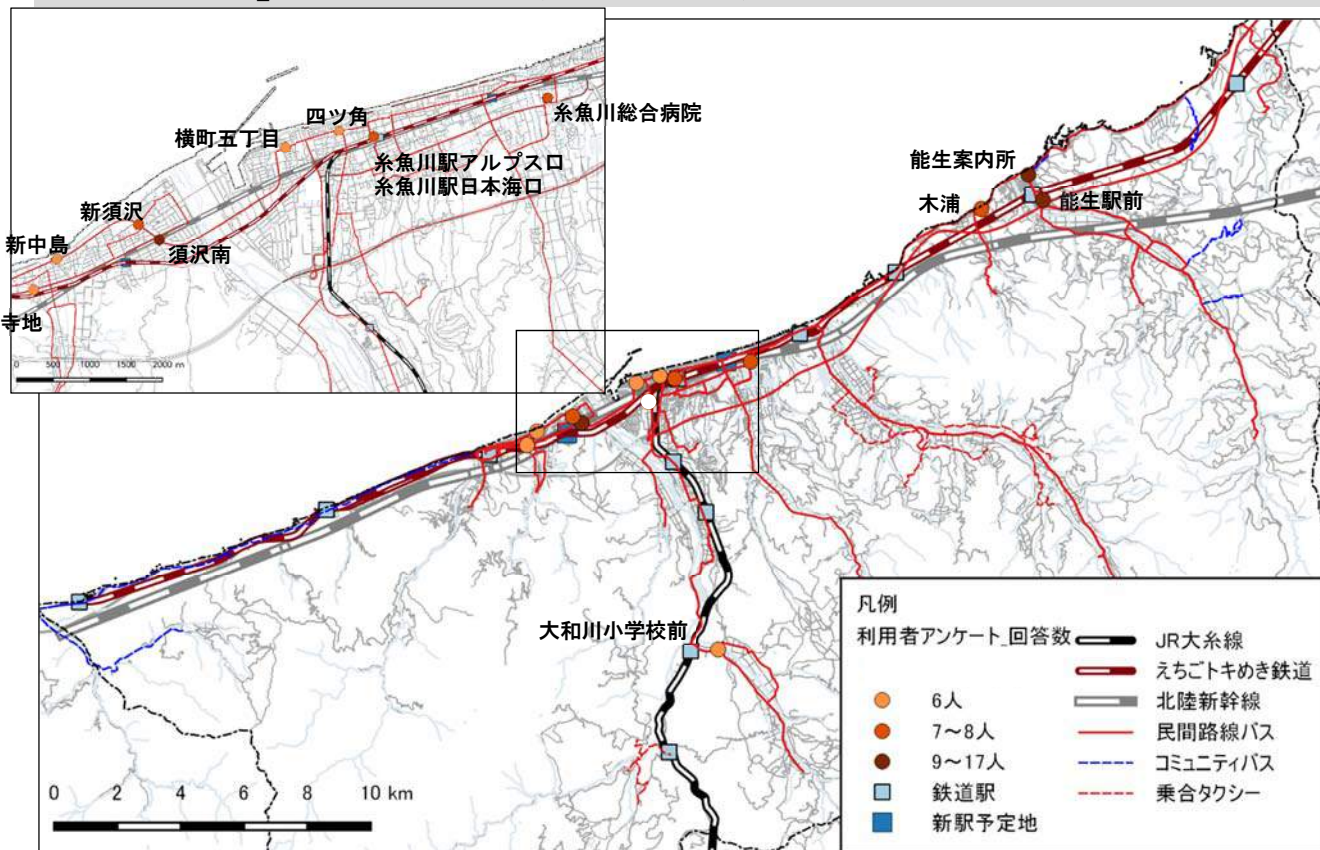
- 利用者アンケートでは「能生案内所」の回答が最も多く、次いで「須沢南」「能生駅前」となる。
- 回答が多かった地区は能生駅周辺や須沢周辺、糸魚川駅周辺、糸魚川総合病院周辺、糸魚川市街地であった。

自宅の最寄バス停名_上位10位 (利用者アンケート)

項目	回答数	0～10分	11～20分	21～30分	31～40分	41～50分	51～60分	60分以上	未記入
能生案内所	17	16	0	0	0	0	0	0	1
須沢南	11	11	0	0	0	0	0	0	0
能生駅前	11	11	0	0	0	0	0	0	0
糸魚川駅アルプス口	8	8	0	0	0	0	0	0	0
新須沢	8	8	0	0	0	0	0	0	0
糸魚川総合病院	7	7	0	0	0	0	0	0	0
木浦	7	6	1	0	0	0	0	0	0
糸魚川駅日本海口	6	5	0	0	0	0	0	0	1
新中島	6	5	0	0	0	0	0	0	1
寺地	6	6	0	0	0	0	0	0	0
大和川小学校前	6	6	0	0	0	0	0	0	0
横町五丁目	6	6	0	0	0	0	0	0	0
四ツ角	6	6	0	0	0	0	0	0	0
市外	66	—	—	—	—	—	—	—	—

※146のバス停に対して回答があった。
 ※利用者アンケートは、糸魚川市外の居住者を除く。

自宅の最寄バス停_上位10位プロット図 (利用者アンケート)

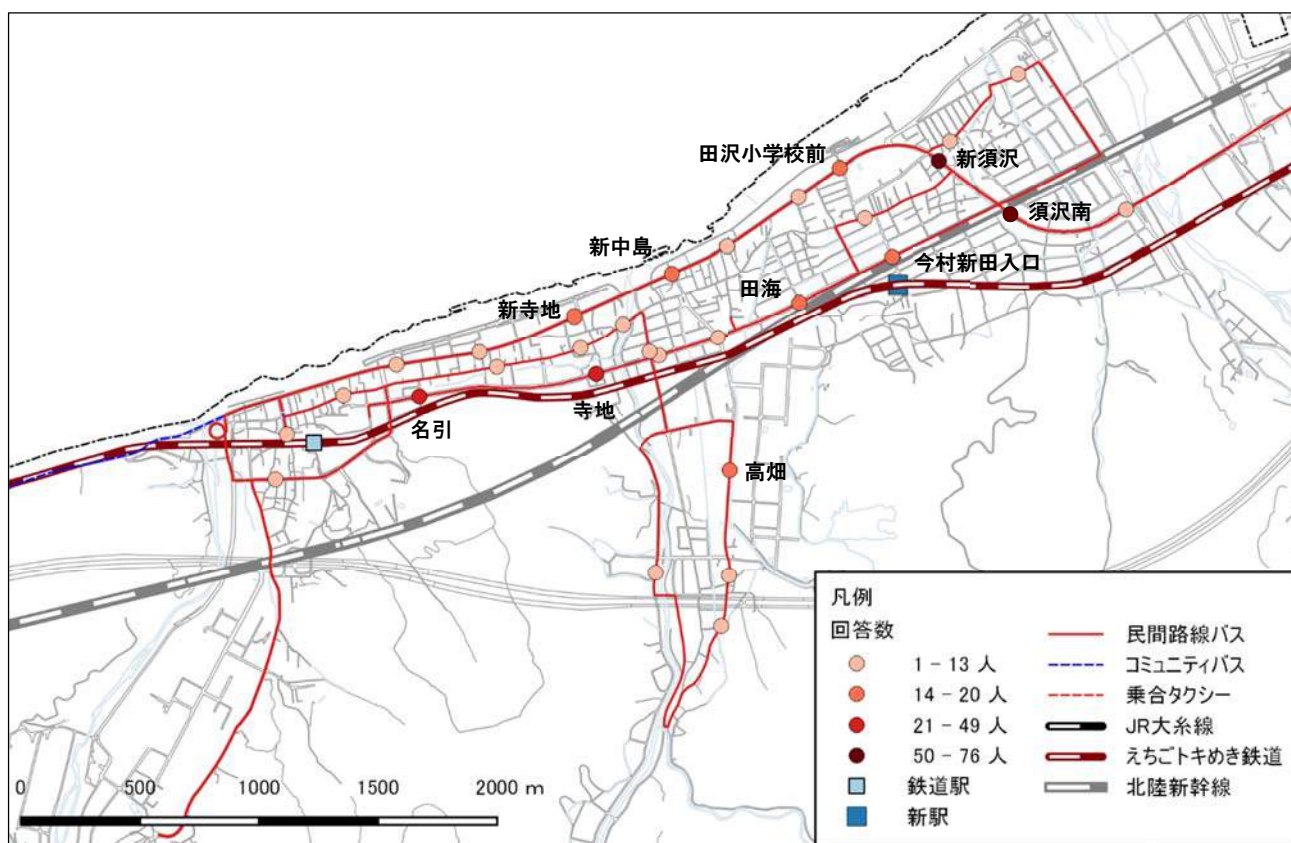


■今村新田駅周辺では能生青海線沿線の「須沢南」「新須沢」へ回答が集中している。次いで、青海通り線の「寺地」「名引」、おうみ巡回線の「今村新田入口」「田海」、能生青海線の「田沢小学校前」の順。

自宅の最寄バス停_上位 10 位（新駅周辺住民アンケート：今村新田駅周辺）

項目	回答数	0～10分	11～20分	21～30分	31～40分	41～50分	51～60分	60分以上	未記入
須沢南	79	75	3	0	0	0	0	0	1
新須沢	50	49	1	0	0	0	0	0	0
寺地	30	29	1	0	0	0	0	0	0
名引	21	21	0	0	0	0	0	0	0
今村新田入口	19	18	1	0	0	0	0	0	0
田海	18	18	0	0	0	0	0	0	0
田沢小学校前	18	18	0	0	0	0	0	0	0
高畑	17	17	0	0	0	0	0	0	0
新寺地	14	13	0	0	0	0	0	0	1
新中島	14	12	1	0	0	0	0	0	1

※41のバス停に対して回答があった。

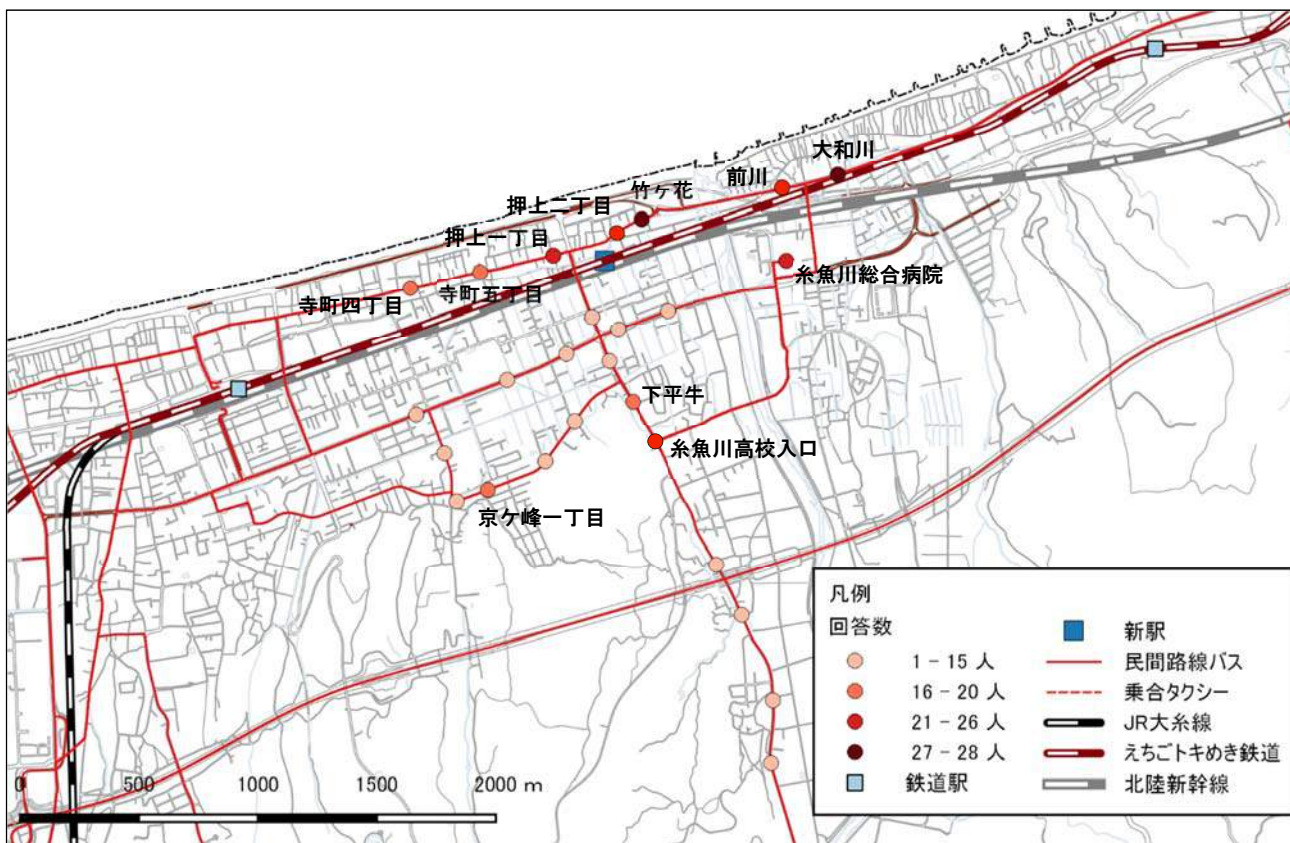


■押上駅周辺では「竹ヶ花」への回答が最も多く、次いで「大和川」、「糸魚川総合病院」の順。回答は1つのバス停に集中せず、分散している。

自宅の最寄バス停_上位10位（新駅周辺住民アンケート：押上駅周辺）

項目	回答数	0～10分	11～20分	21～30分	31～40分	41～50分	51～60分	60分以上	未記入
竹ヶ花	28	28	0	0	0	0	0	0	0
大和川	27	24	2	0	0	0	0	0	1
糸魚川総合病院	26	25	1	0	0	0	0	0	0
糸魚川高校入口	21	21	0	0	0	0	0	0	0
押上一丁目	21	21	0	0	0	0	0	0	0
京ヶ峰一丁目	20	20	0	0	0	0	0	0	0
寺町四丁目	19	18	0	0	0	0	0	0	1
前川	17	16	1	0	0	0	0	0	0
押上二丁目	16	16	0	0	0	0	0	0	0
下平牛	16	16	0	0	0	0	0	0	0
寺町五丁目	16	15	0	0	0	0	0	0	1

※32のバス停に対して回答があった。



日常の移動や交通利用の状況について

(11) 外出目的ごとの「頻度」、「時間帯」、「交通手段」、「目的地」 【共通：市・問10 利・問10 駅・問9】

(11)-1 頻度 (SA)

- 「①通勤・通学」では各アンケートで「週5日以上」が最も高い。
- 「②食料品の買い物」では、「週に1～2日」以上と回答している割合は、市民アンケート91.3%、利用者アンケート79.6%である。また「週に3～4日」以上では市民アンケート54.2%、利用者アンケート47.9%と、回答者数の約5割は、「週に3～4日」以上の頻度で食料品の買い物に出かけている。
- 「③衣料品の買い物」、「④通院、通所」、「⑤公共施設・金融機関」では各アンケート共通して「月に1～2日」が最も高い。
- 「⑥趣味・娯楽」でのお出かけは、各アンケート共通して「週に1～2日」、「月に1～2日」で回答者数の約4～5割を占める。
- 押上駅周辺では、「④通院、通所」でお出かけする割合が市民アンケートよりも低く、糸魚川市内でも医療施設へのお出かけの頻度が少ない地区であると考えられる。
- 今村新田駅周辺では、他アンケートよりも「週5日以上」の頻度で「⑦その他の目的」へのお出かけが多い。その他の目的では、「送迎」により幼稚園、保育園、小学校に行くとする回答が多くみられた。

(11)-2 移動時間帯（行き・帰り） (SA)

- 出発時間帯は各アンケート共通して「7～10時」の回答が多く、特に「10時」台で移動者数が最も多くなる。
- 帰宅時間帯は、「11～12時」、「15～19時」と時間帯が分散している。
- 市民アンケートでの帰宅時間は、「②食料品の買い物」、「④通院、通所」、「⑤公共施設・金融機関」での帰宅により、「11～12時」台が最も多い。「17～18時」台は「①通勤・通学」、「②食料品の買い物」、「③衣料品の買い物」による帰宅が重なるため、回答数が多い。
- 「①通勤・通学」の出発時間に関して、利用者アンケートでは、市民アンケートよりも「6時」台の回答が多い。また帰宅時間は、市民アンケートでは「18時」台で帰宅のピークを迎えるのに対し、利用者アンケートでは「20時」台まで帰宅のピークが続いている。

(11)-3 交通手段 (MA・ALL)

- 市民アンケートでは、「①通勤・通学」、「②食料品の買い物」、「③衣料品の買い物」、「⑤公共施設・金融機関」、「⑥趣味・娯楽」の目的で、「車(自分で運転)」、「車(家族等が運転)」の割合が回答者数の約7～9割を占める。「④通院、通所」では、「車(自分で運転)」、「車(家族等が運転)」の割合は62.5%。
- 「えちごトキめき鉄道」、「路線バス」等の公共交通に関する割合は、すべての項目で市民アンケートよりも利用者アンケートの方が高い。特に「①通勤・通学」では、市民アンケート10.2%、利用者アンケート38.5%と利用者アンケートの方が28.3%高い。また「④通院、通所」では市民アンケート12.1%、利用者アンケート33.8%と利用者アンケートの方が21.7%高い。

(11)-4 目的地 (MA)

目的地として挙げた施設について、都道府県別及び市町村別、施設別に集計した。

- 「②食料品の買い物」では各アンケート共通して糸魚川市が回答者数の約 9 割を占める。糸魚川市以外では、上越市、富山県の回答があるものの、全体的に少ない。
- 施設名では原信、ハッピー、イチコ、マックスバリュへの回答が多い。

目的地「②食料品の買い物」の所在地

目的施設名_上位 10 位

項目	市民アンケート (n=180)	利用者アンケート (n=165)	新駅周辺アンケート	
			今村新田駅周辺 (n=191)	押上駅周辺 (n=196)
糸魚川市	98.9%	95.8%	100.0%	99.5%
上越市	0.6%	3.6%	0.0%	0.5%
妙高市	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他 県内	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富山県	0.6%	0.6%	0.0%	0.0%
石川県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
長野県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他 県外	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%
新潟市	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

項目	計	市民アンケート	利用者アンケート	新駅周辺アンケート	
				今村新田駅周辺	押上駅周辺
原信合計	267	49	40	31	147
原信糸魚川東店	14	3	4	2	5
特定不能	253	46	36	29	142
ハッピー合計	234	61	43	78	52
ハッピー田沢店	35	5	5	25	0
ハッピー奴奈川店	25	10	2	2	11
ハッピー横町店	13	6	2	5	0
特定不能	161	40	34	46	41
イチコ	154	31	22	88	13
マックスバリュ	131	33	26	57	15
コメリ	11	2	1	4	4
JA ひすい食彩館	9	1	3	1	4
ひらせい	7	0	2	3	2
サンエー厚田店	6	1	0	0	5

- 「③衣料品の買い物」では、市民アンケート、新駅周辺アンケートで糸魚川市が回答者数の約 6 割程度を占める。利用者アンケートは各アンケートの中で糸魚川市への回答者の割合が最も低い。
- 新駅周辺アンケートでは上越市への回答が他アンケートよりも低い。特に今村新田駅周辺では市民アンケート 51.6% に対し 40.4%と 11.2%低く、糸魚川市内でも衣料品の買い物は近隣の市町の店舗を利用することが少ないと考えられる。

目的地「③衣料品の買い物」の所在地

目的施設名_上位 10 位

項目	市民アンケート (n=95)	利用者アンケート (n=110)	新駅周辺アンケート	
			今村新田駅周辺 (n=141)	押上駅周辺 (n=138)
糸魚川市	66.3%	45.5%	59.6%	55.1%
上越市	51.6%	47.3%	40.4%	45.7%
妙高市	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他 県内	4.2%	0.0%	0.7%	5.1%
富山県	9.5%	10.0%	9.2%	6.5%
石川県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
長野県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他 県外	0.0%	1.8%	1.4%	2.9%
新潟市	0.0%	2.7%	2.8%	2.9%

項目	計	市民アンケート	利用者アンケート	新駅周辺アンケート	
				今村新田駅周辺	押上駅周辺
しまむら	179	40	31	60	48
ヤマシタ	96	27	18	20	31
マックハウス	17	5	4	5	3
西松屋	17	1	3	6	7
山岸呉服店	4	1	0	0	3
ハッピー奴奈川店	3	1	1	1	0
イモリ	1	1	0	0	0
あぶらや	1	1	0	0	0
ハッピー横町店	1	1	0	0	0
ありがたや	1	0	0	0	1

- 「④通院、通所」では各アンケート共通して糸魚川市への回答が9割程度。上越市への回答は各アンケート共通して回答者数の1割未満であった。
- 施設では、各アンケート共通して「糸魚川総合病院」への回答が最も多い。新駅周辺アンケートでは、市内のクリニック等個人経営の医療施設は回答が集中せず、2駅で回答が偏っている施設が多い。

目的地「④通院、通所」の所在地 目的施設名_上位10位

項目	市民アンケート (n=157)	利用者アンケート (n=161)	新駅周辺アンケート	
			今村新田駅周辺 (n=169)	押上駅周辺 (n=142)
糸魚川市	93.0%	87.0%	91.7%	90.8%
上越市	7.6%	9.9%	4.1%	7.7%
妙高市	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
その他 県内	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%
富山県	5.1%	3.1%	5.9%	3.5%
石川県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
長野県	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
その他 県外	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新潟市	0.6%	0.0%	0.0%	1.4%

項目	計	市民アンケート	利用者アンケート	新駅周辺アンケート	
				今村新田駅周辺	押上駅周辺
糸魚川総合病院	337	75	93	79	90
山本医院	42	5	8	28	1
よしだ病院	42	8	15	15	4
ひまわり内科	29	9	5	2	13
石田眼科 糸魚川クリニック	22	4	4	10	4
ひめかわ 美野クリニック	21	8	5	4	4
すずき医院	18	3	4	4	7
市内医療施設	17	6	11	1	5
なかむらこども 内科クリニック	15	3	0	5	7
しまだ医院	14	7	2	0	5

- 「⑤公共施設・金融機関」では各アンケート共通して、回答者の10割近い方が糸魚川市と回答している。
- 施設では金融機関への回答が上位5位を占める。公共施設では市役所への回答が最も多く、次いで、図書館が挙げられた。

目的地「⑤公共施設・金融機関」の所在地 目的施設名_上位10位

項目	市民アンケート (n=104)	利用者アンケート (n=103)	新駅周辺アンケート	
			今村新田駅周辺 (n=134)	押上駅周辺 (n=118)
糸魚川市	100.0%	99.0%	100.0%	100.0%
上越市	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%
妙高市	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他 県内	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富山県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
石川県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
長野県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他 県外	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新潟市	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

項目	計	市民アンケート	利用者アンケート	新駅周辺アンケート	
				今村新田駅周辺	押上駅周辺
第四銀行合計	111	28	26	27	30
第四銀行青海支店	4	1	1	2	0
特定不能	107	27	25	25	30
郵便局合計	92	21	24	29	18
青海八久保郵便局	10	1	0	9	0
糸魚川郵便局	5	1	4	0	0
特定不能	77	19	20	20	18
JAひすい合計	81	26	8	23	24
JAひすい青海支店	7	0	0	7	0
特定不能	74	26	8	16	24
北越銀行合計	68	17	14	20	17
北越銀行青海支店	4	0	0	4	0
特定不能	64	17	14	16	17
糸魚川信用組合合計	64	13	11	29	11
糸魚川信用組合本店	3	0	1	0	2
特定不能	61	13	10	29	9
市役所	43	4	20	4	15
図書館	32	5	7	16	4

■「⑥趣味・娯楽」では各アンケート共通して糸魚川市が回答者の約 7～8 割を占める。上越市は市民アンケートでは 20.0%、利用者アンケートでは 15.1%と、回答者数の 2 割程度。新駅周辺アンケート今村新田駅周辺では、他アンケートよりも上越市の割合が低い。
 ■施設では、糸魚川市健康づくりセンター「はびねす」の回答が多く、次いで「糸魚川公民館」、民間複合商業施設「ヴィオレッタ糸魚川」が挙げられた。

目的地「⑥趣味・娯楽」の所在地 目的施設名_上位 10 位

項目	市民アンケート (n=55)	利用者アンケート (n=93)	新駅周辺アンケート	
			今村新田駅周辺 (n=81)	押上駅周辺 (n=70)
糸魚川市	70.9%	68.8%	80.2%	74.3%
上越市	20.0%	15.1%	8.6%	15.7%
妙高市	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
その他 県内	0.0%	0.0%	3.7%	1.4%
富山県	7.3%	5.4%	3.7%	2.9%
石川県	1.8%	5.4%	0.0%	1.4%
長野県	0.0%	2.2%	3.7%	0.0%
その他 県外	5.5%	7.5%	4.9%	5.7%
新潟市	0.0%	2.2%	4.9%	2.9%

項目	計	市民アンケート	利用者アンケート	新駅周辺アンケート	
				今村新田駅周辺	押上駅周辺
はびねす	17	1	2	5	9
糸魚川公民館	15	1	7	3	4
ヴィオレッタ糸魚川	15	0	5	5	5
きらら青海	12	1	3	8	0
美山公園	12	4	6	0	2
市民会館	9	1	3	2	3
青海生涯学習センター	8	2	1	4	1
ひらせい	8	2	2	4	0
ふれあいセンター	7	2	0	3	2
ひすいの湯	5	2	0	3	0

■「⑦その他の目的」では、市民アンケート、新駅周辺アンケート押上駅周辺では糸魚川市の割合が他のアンケートよりも高く、全体の 7 割程度。利用者アンケートでは、他アンケートよりも糸魚川市への割合が 1～2 割程度低く、上越市の割合が他アンケートよりも 1 割程度高い。利用者アンケートでは糸魚川市内の地域の中でも「その他の目的」で上越方面に行く割合が高い。
 ■施設では、糸魚川駅、青海駅の鉄道駅や体育館、学校等が上位に挙げられた。また、特別養護老人ホームおさわの里や市内でも有名な温泉地である権現荘が上位 10 位に入っている。

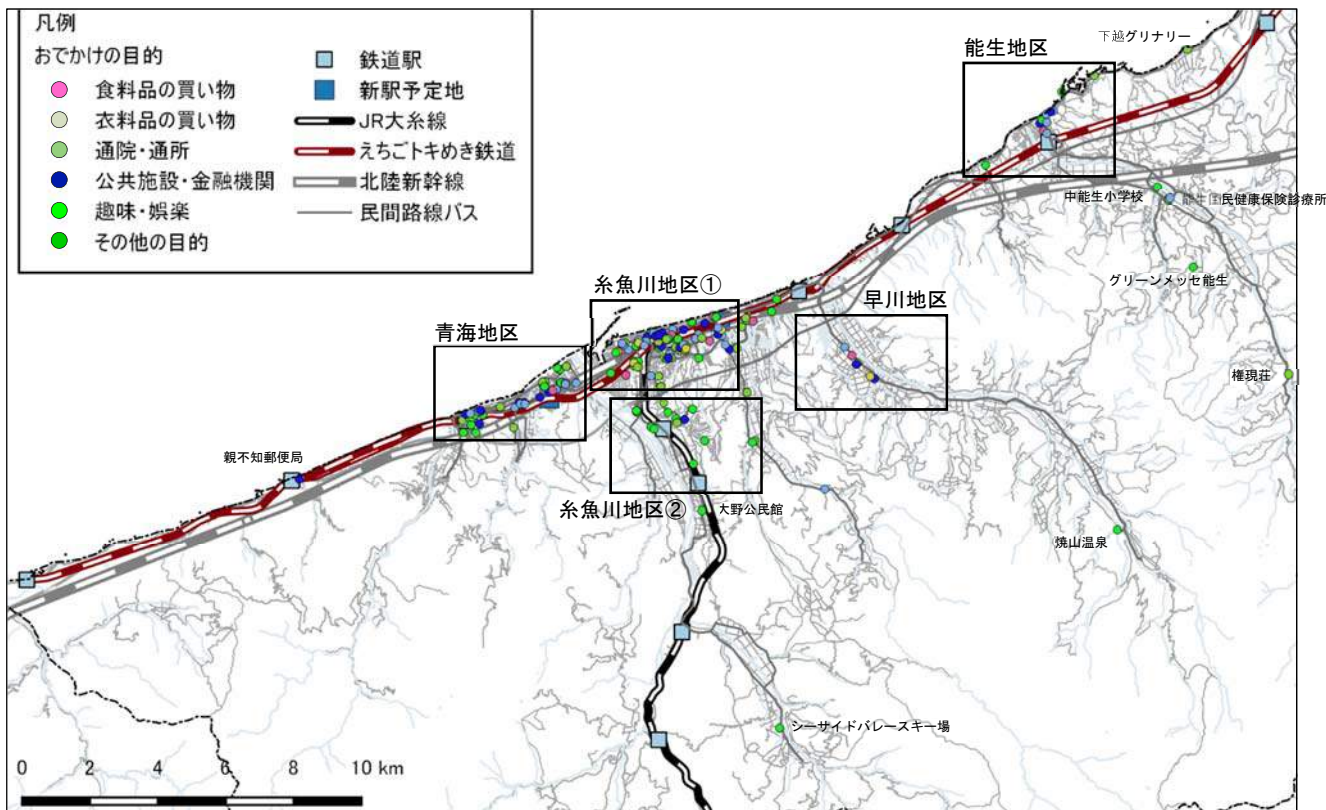
目的地「⑦その他の目的」の施設所在地 目的施設名_上位 10 位

項目	市民アンケート (n=29)	利用者アンケート (n=31)	新駅周辺アンケート	
			今村新田駅周辺 (n=32)	押上駅周辺 (n=15)
糸魚川市	72.4%	51.6%	62.5%	73.3%
上越市	10.3%	19.4%	6.3%	6.7%
妙高市	0.0%	6.5%	0.0%	0.0%
その他 県内	3.4%	0.0%	6.3%	0.0%
富山県	6.9%	6.5%	9.4%	0.0%
石川県	6.9%	16.1%	3.1%	0.0%
長野県	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%
その他 県外	17.2%	0.0%	18.8%	20.0%
新潟市	10.3%	0.0%	3.1%	6.7%

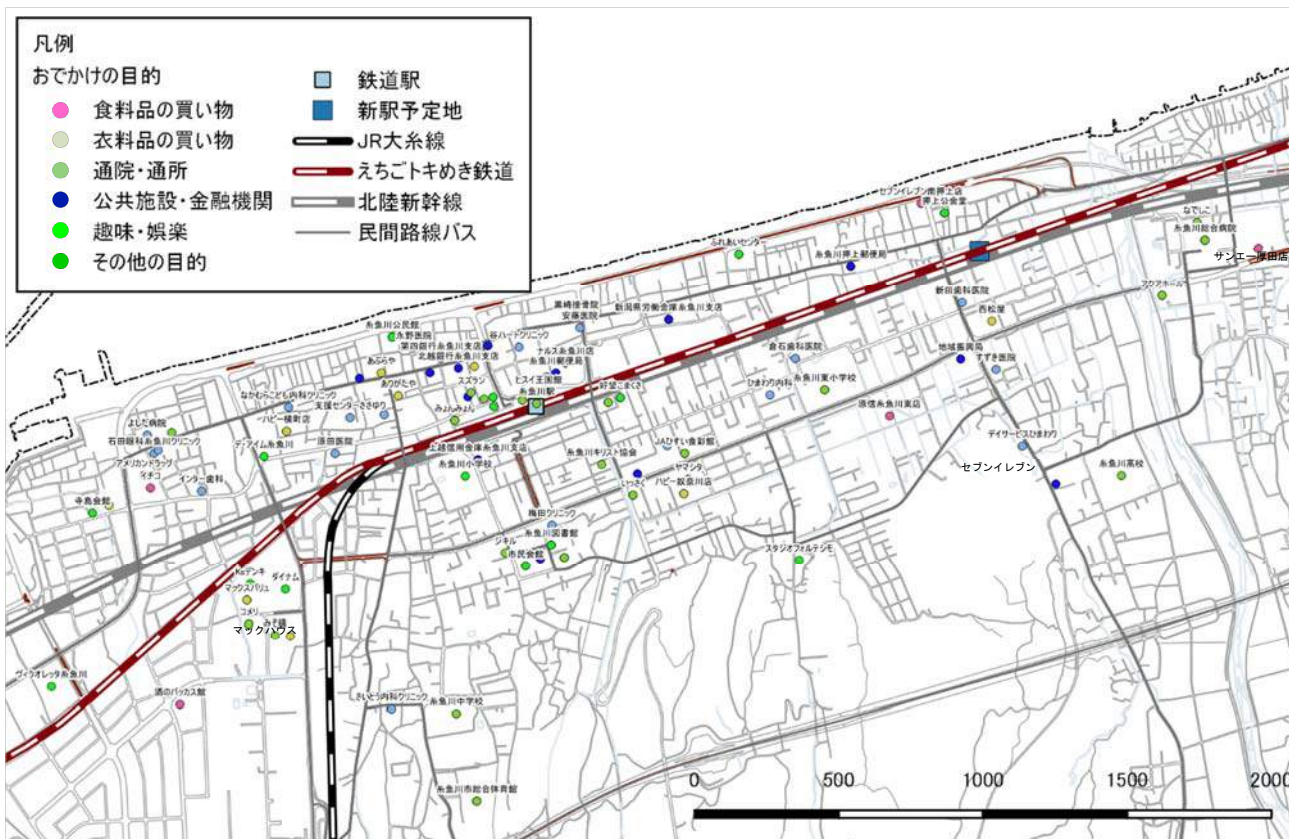
項目	計	市民アンケート	利用者アンケート	新駅周辺アンケート	
				今村新田駅周辺	押上駅周辺
糸魚川駅	6	2	2	2	0
青海駅	3	0	1	2	0
糸魚川市総合体育館	3	1	0	0	2
アクアホール	2	0	1	0	1
糸魚川中学校	2	0	1	0	1
田沢幼稚園	2	0	0	2	0
青海生涯学習センター	2	1	0	1	0
サンドリームおうみ	2	1	0	0	1
亀が岡体育館	2	1	0	0	1
おさわの里	2	0	2	0	0
権現荘	2	0	2	0	0

■市内目的地で回答があった全施設をプロットする。施設が密集している箇所は市内を4つの地域に分けて拡大して記載する。

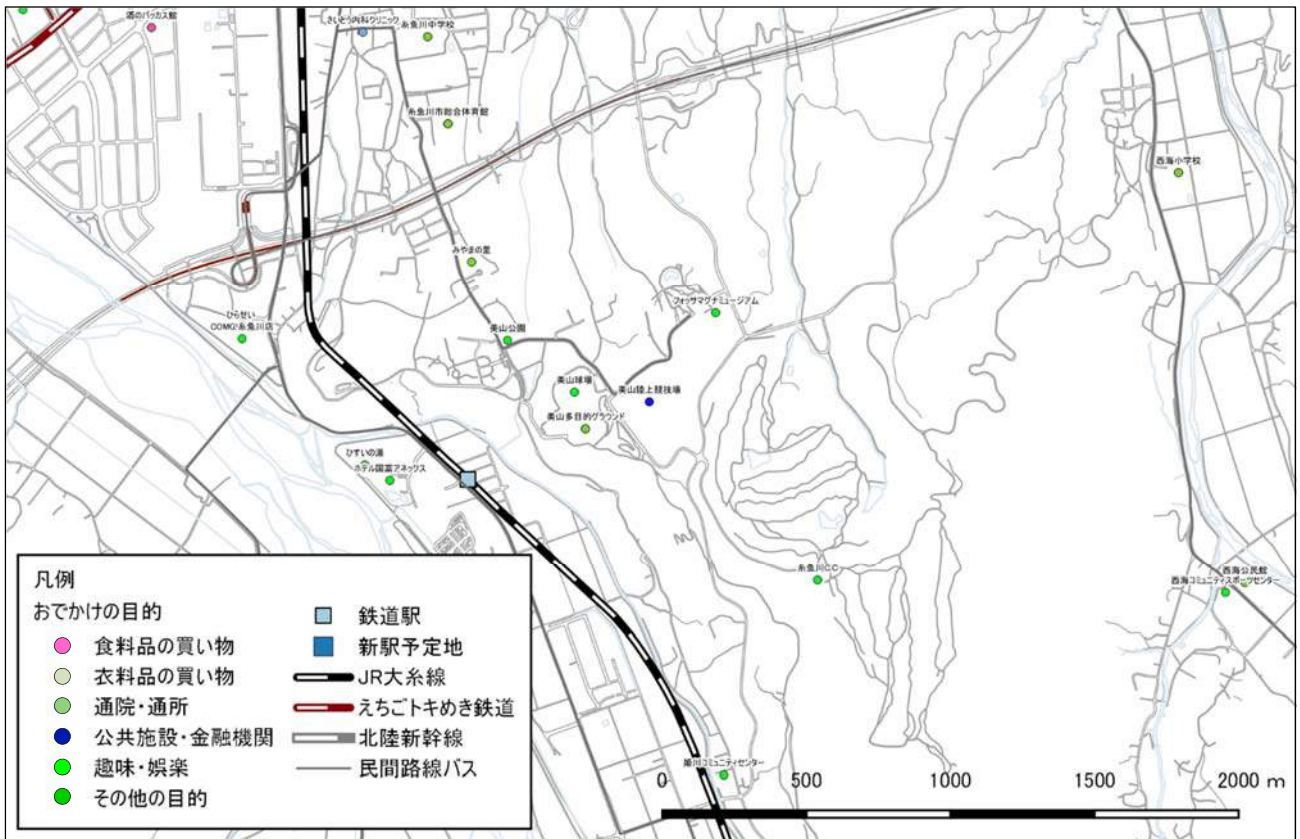
市内目的地_回答のあった全施設



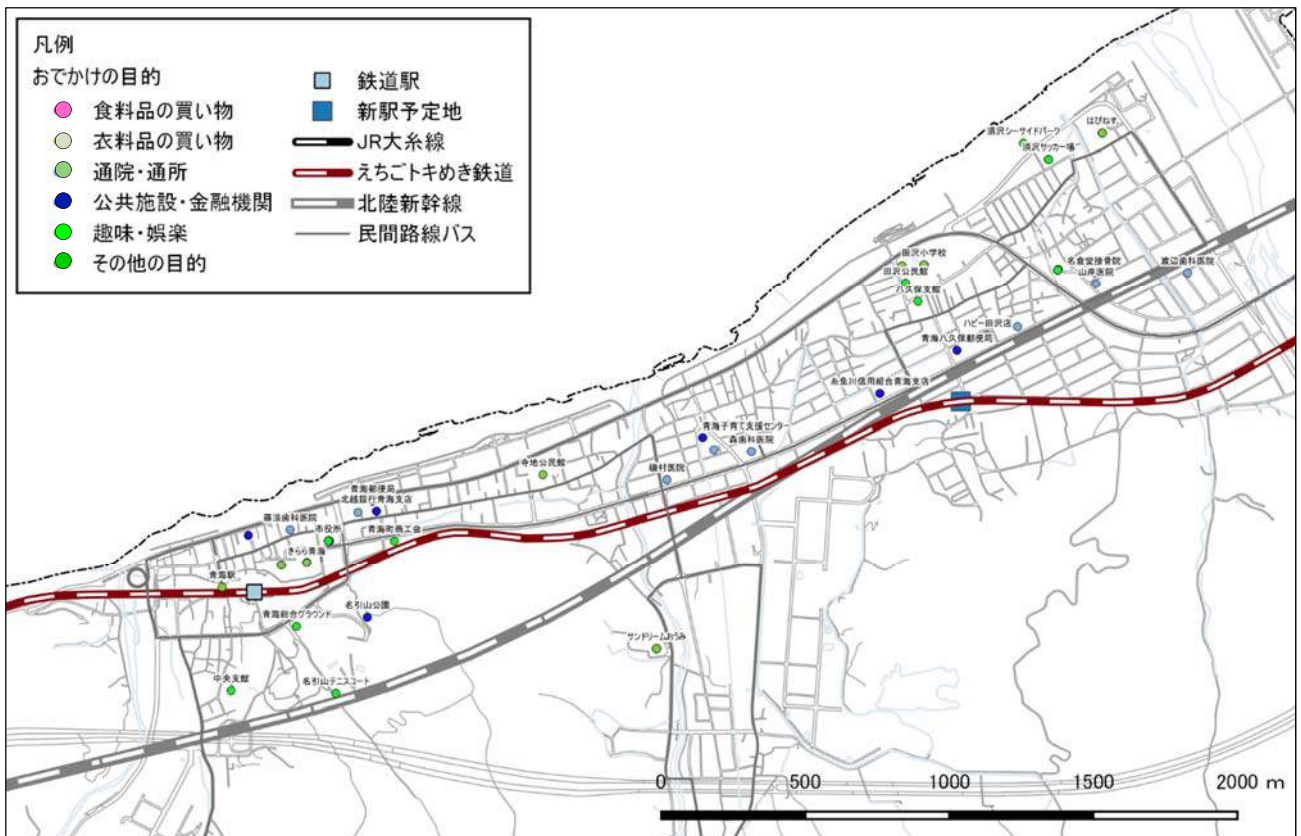
市内目的地_糸魚川地区①



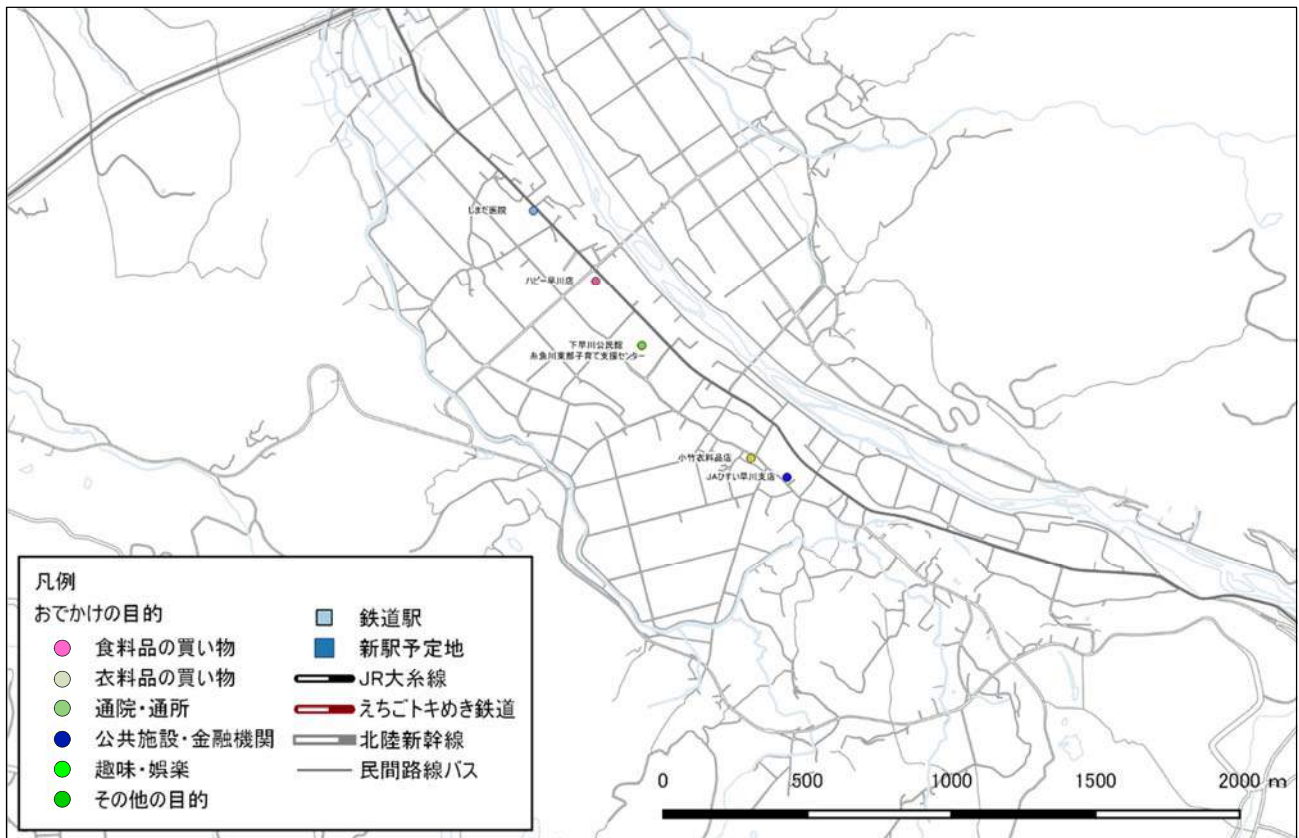
市内目的地_糸魚川地区②



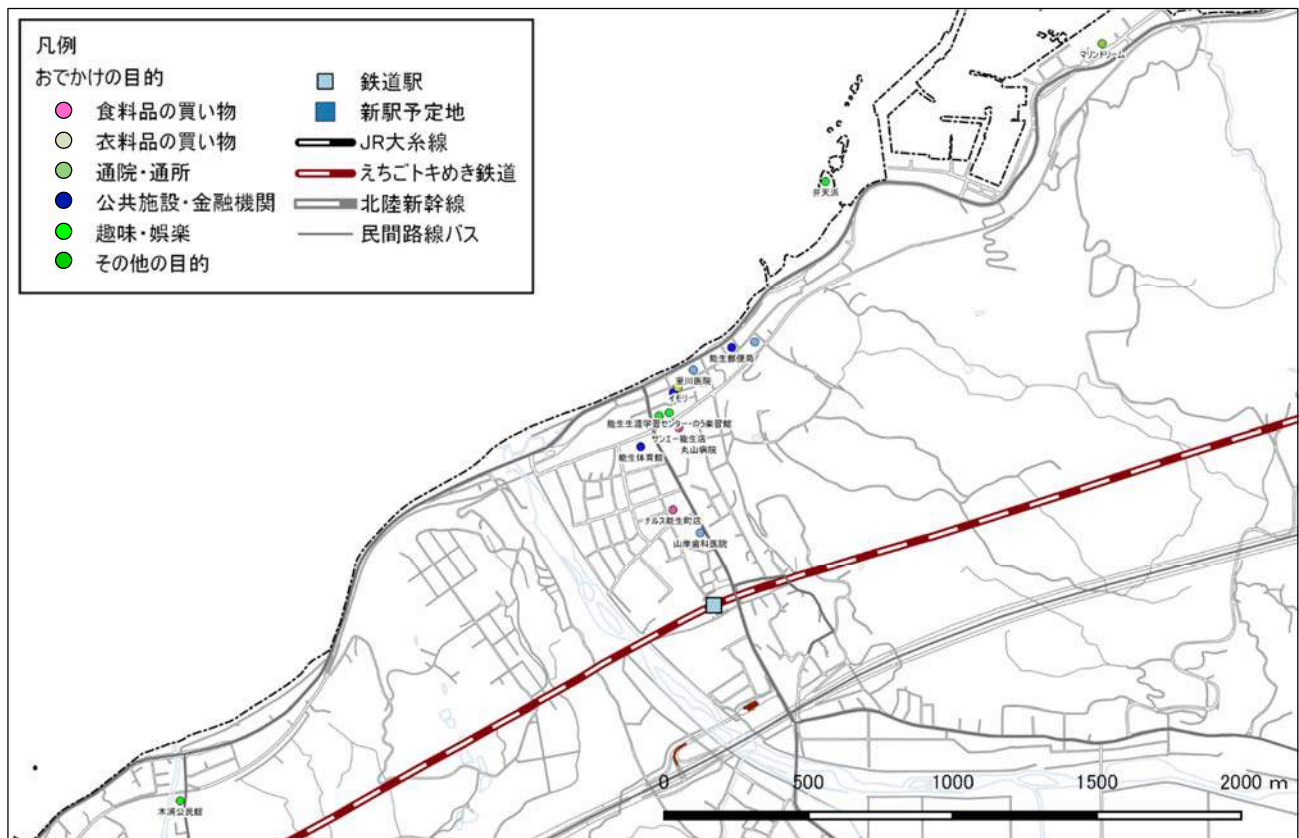
市内目的地_青海地区



市内目的地_早川地区



市内目的地_能生地区



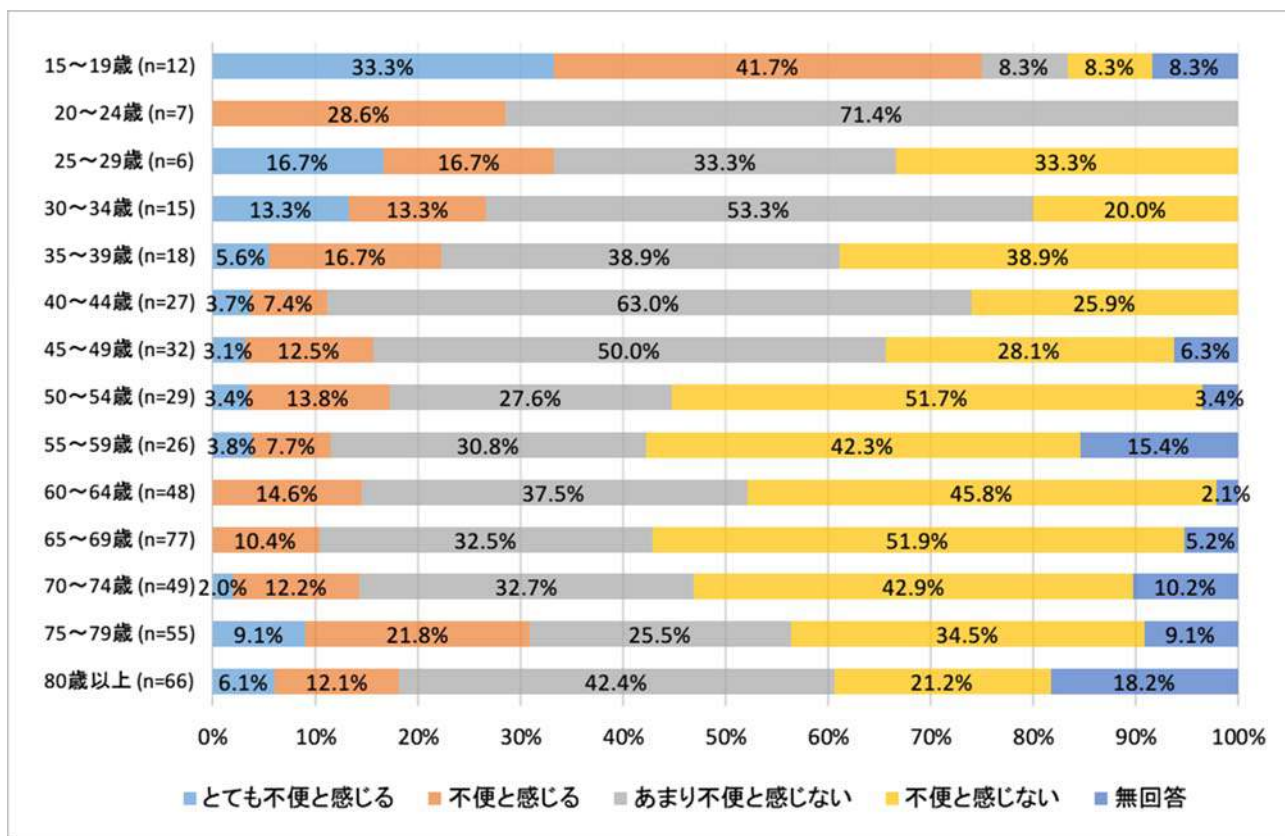
(12) おでかけに関する現在と将来の考え (SA) 【共通：市・問11 利・問11 駅・問11】

- 現在の移動に関しては市民アンケート、利用者アンケート、今村新田駅周辺、押上駅周辺ともに、「ひとりで移動可能」、「大変だがひとりで移動可能」が8～9割を占める。
- 将来の移動に関して、市民アンケートでは「②食料品の買い物」、「③衣料品での買い物」、「④通院、通所動」等、日常生活の移動に関して「不安がある」と回答している人が45.1～48.4%。そのうち、「移動に不安がかなり難しくなると思う」と回答している人は14.1～19.0%である。押上駅周辺では、他アンケートよりも全体的に「移動に不安はない」の割合が高く、将来に対する不安の意識は低い。

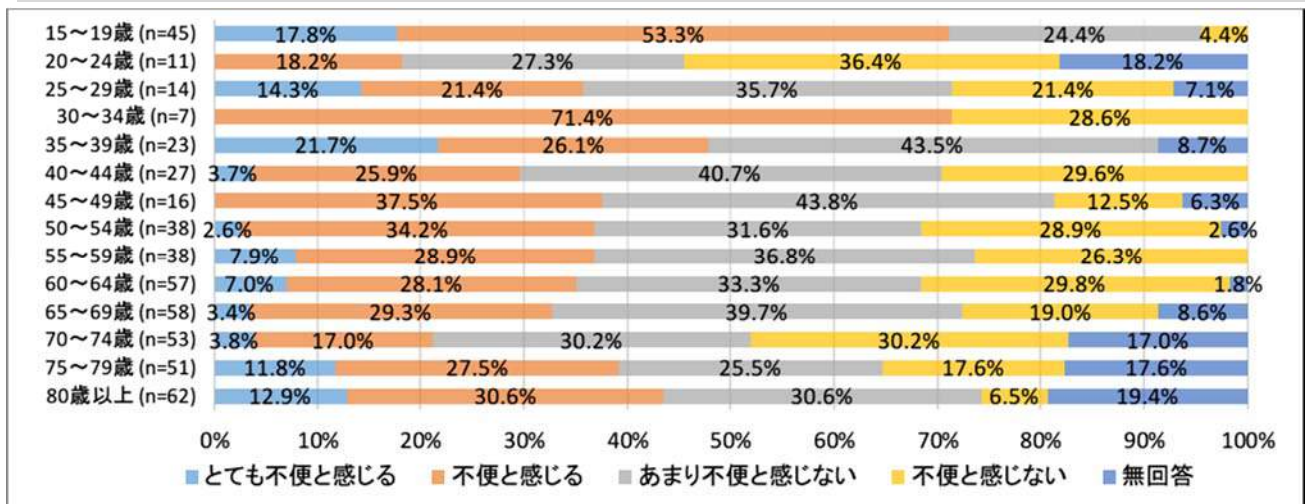
(13) おでかけに不便を感じているか (SA) 【共通：市・問12 利・問12 駅・問12】

- 「とても不便と感じる」「不便と感じる」の回答は、市民アンケート 28.7%、利用者アンケート 38.8%、今村新田駅周辺 20.7%、押上駅周辺 14.8%。各アンケートよりも利用者アンケートの方が「おでかけが不便である」と感じている割合が高い。各アンケートの中で、押上駅周辺では「不便である」と感じている割合が最も低い。
- 年齢別にみると、おでかけに「不便と感じている」割合が高いのは「15～19歳」が多く市民アンケート 75.0%、利用者アンケート 71.1%、今村新田駅周辺 61.9%。押上駅周辺では「15～19歳」が「不便と感じている」割合は27.3%であり、他アンケートよりも低い。市民アンケート、新駅周辺アンケートでは、「20～74歳」で「不便と感じない」、「あまり不便と感じない」割合が約5～8割程度を占めている。

おでかけに不便を感じているか×年齢 (市民アンケート)

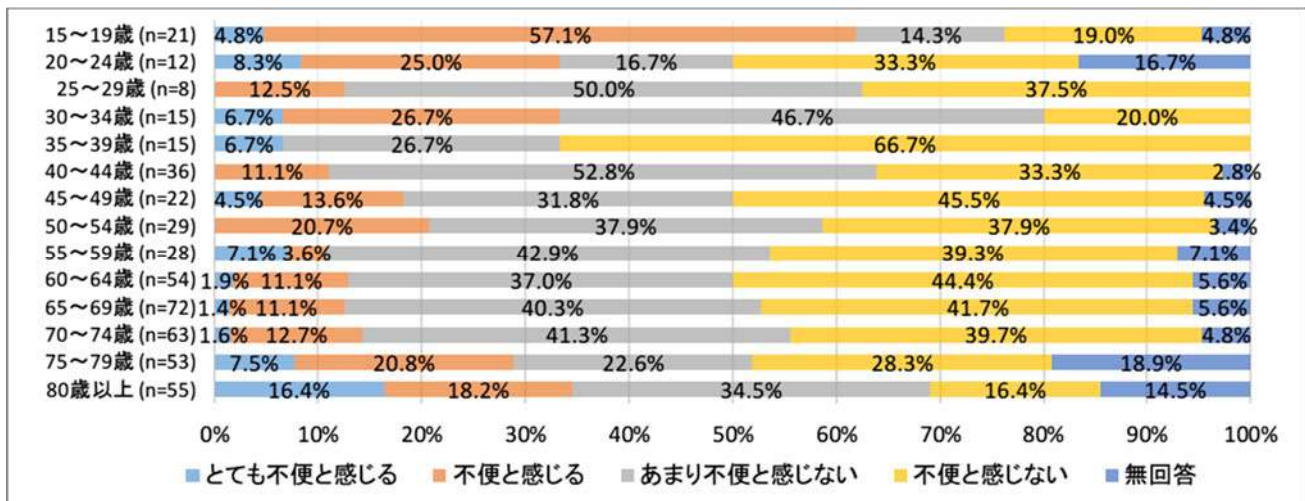


おでかけに不便を感じているか×年齢（利用者アンケート）

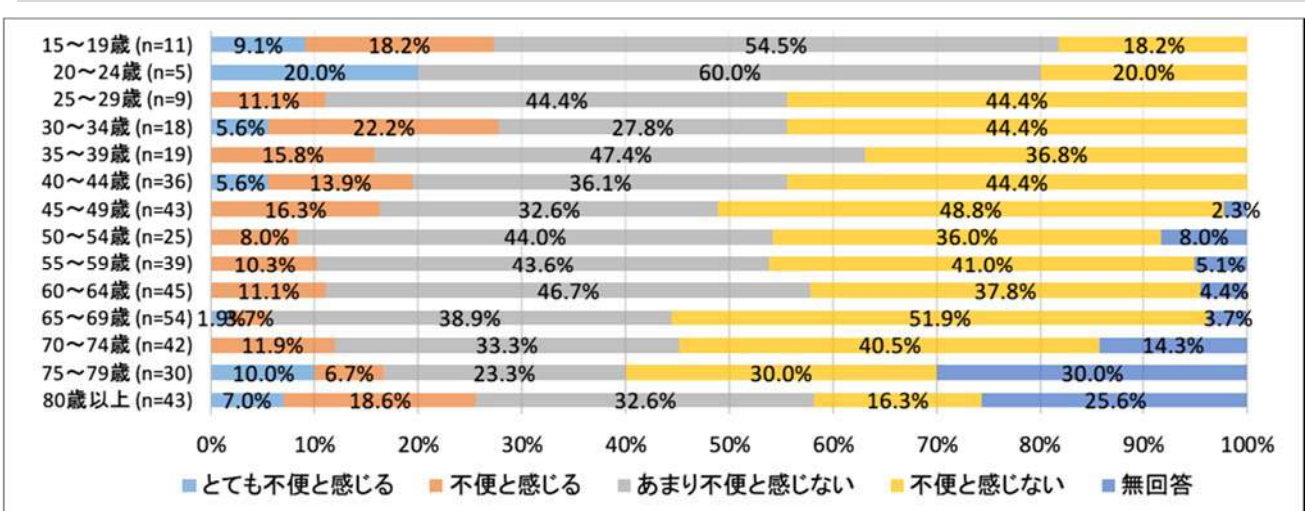


※利用者アンケートは、糸魚川市外の居住者を除く。

おでかけに不便を感じているか×年齢（新駅周辺住民アンケート：今村新田駅周辺）



おでかけに不便を感じているか×年齢（新駅周辺住民アンケート：押上駅周辺）



(14) おでかけに不便を感じる点 (MA・ALL) 【共通：市・問13 利・問13 駅・問13】

- 「鉄道やバスの運行本数が少ない」は、各アンケート共通して 5～6 割程度を占める。特に利用者アンケートでは回答者の約 7 割が回答している。
- 「目的の時間に鉄道やバスが運行していない」、「鉄道やバスの乗り換えが不便」、「自宅から駅やバス停が遠い」では、今村新田駅周辺、押上駅周辺で市民アンケートよりも割合が高い。新駅設置予定地周辺では、公共交通の運行時間帯や乗り換え、バス停の位置に関して不便と感じている割合が高い。
- 今村新田駅周辺では、「目的地から駅やバス停が遠い」や「鉄道駅やバス停がバリアフリーになっていない」、「誰かに頼まないと車で移動できない」の項目で他アンケートよりも割合が高い。押上駅周辺では、「鉄道やバスの運賃が高い」や「荷物が多いため鉄道やバスの利用が困難」、「介助や杖等が必要で、元々おでかけが困難」の項目で、他アンケートよりも割合が高い。

(15) 日常のおでかけを不安に思う点 (MA・ALL) 【共通：市・問14 利・問14 駅・問14】

- 各アンケート共通して「自分の身体機能が低下し、長い時間歩けなくなる」への割合が高く、回答者数の約 3 割が回答している。
- 今村新田駅周辺では「自分が車を運転できなくなる」や「現在の鉄道、バス、乗合タクシー等公共交通機関はダイヤや運行便数が不便」、「今使っている公共交通機関の減便や廃止が不安」、「公共交通機関の利用は経済的に負担が大きい」の項目で、他アンケートよりも割合が高い。今村新田駅周辺では、将来自動車を運転できなくなった際の公共交通の運行に関する不安や、経済的な負担を不安に感じている割合が高い。
- 押上駅周辺では、日常のおでかけについて「不安に思わない」への回答割合が高く、身体的な衰え等による移動の不安はあまり感じていない。一方、「公共交通機関の使い方がわからない」への割合が他アンケートよりも高く、将来公共交通を利用する際の利用方法について不安に感じている割合が高い。

公共交通の満足度について

(16) 今日の鉄道利用について (MA・ALL) 【利・問15】

(16)-1 乗車駅・降車駅 (FA)

- 1回目～4回目の回答数の合計では、乗車、降車ともに「糸魚川」が最も高く、次いで「能生」「青海」である。県内または県外の利用者の割合は、乗車では29.3%、降車では51.6%。
- 1回目では、乗車駅は市内鉄道駅の割合が高く、降車駅は県内または県外の割合が高い。2回目の乗車駅では、県内または県外の割合が高く、降車駅は市内鉄道駅への割合が高い。鉄道利用では、市内間の移動よりも、市内から県内、県外の移動に利用していると考えられる。

乗車駅

駅名	全体 (n=396)		1回目 (n=264)		2回目 (n=113)		3回目 (n=11)		4回目 (n=8)	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
糸魚川	177	44.7%	157	59.5%	19	16.8%	1	9.1%	0	0.0%
筒石	2	0.5%	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
能生	48	12.1%	43	16.3%	5	4.4%	0	0.0%	0	0.0%
浦本	1	0.3%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
梶屋敷	6	1.5%	6	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
青海	30	7.6%	25	9.5%	5	4.4%	0	0.0%	0	0.0%
親不知	2	0.5%	1	0.4%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%
市振	4	1.0%	2	0.8%	2	1.8%	0	0.0%	0	0.0%
姫川	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
頸城大野	1	0.3%	0	0.0%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%
平岩	1	0.3%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
県内	50	12.6%	5	1.9%	37	32.7%	4	36.4%	4	50.0%
県外	66	16.7%	13	4.9%	43	38.1%	6	54.5%	4	50.0%
無回答	8	2.0%	8	3.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

※利用者アンケートは、糸魚川市外の居住者を除く。

降車駅

駅名	全体 (n=396)		1回目 (n=264)		2回目 (n=113)		3回目 (n=11)		4回目 (n=8)	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
糸魚川	111	28.0%	42	15.9%	60	53.1%	3	27.3%	5	62.5%
筒石	2	0.5%	0	0.0%	2	1.8%	0	0.0%	0	0.0%
浦本	1	0.3%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
能生	30	7.6%	12	4.5%	17	15.0%	0	0.0%	1	12.5%
梶屋敷	1	0.3%	0	0.0%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%
青海	23	5.8%	9	3.4%	14	12.4%	0	0.0%	0	0.0%
親不知	3	0.8%	2	0.8%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%
市振	1	0.3%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
姫川	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
頸城大野	1	0.3%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
県内	81	20.5%	71	26.9%	6	5.3%	4	36.4%	0	0.0%
県外	122	30.8%	107	40.5%	9	8.0%	4	36.4%	2	25.0%
無回答	20	5.1%	18	6.8%	3	2.7%	0	0.0%	0	0.0%

※利用者アンケートは、糸魚川市外の居住者を除く。

(16)-2 利用目的 (MA・ALL)

■1 回目～4 回目の回答数の合計では、「出勤、登校」が最も高く 39.4%、次いで「旅行」25.7%、「帰宅」20.1%。
 ■1 回目では、多様な目的での利用が見られるが、回数を重ねるにつれて「買い物」、「通院」、「公共施設、金融機関での用事」への回答数が減少している。「出勤、登校」「出張」「趣味・娯楽」「旅行」等の利用では、3 回目以降も回答が挙がっており、乗りまわりの多い目的であると考えられる。

利用目的

利用目的	全体		1 回目		2 回目		3 回目		4 回目	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
出勤、登校	155	39.4%	115	43.6%	38	34.5%	1	9.1%	1	12.5%
出張	61	15.5%	37	14.0%	19	17.3%	4	36.4%	1	12.5%
帰宅	79	20.1%	19	7.2%	49	44.5%	5	45.5%	6	75.0%
食料品、日用品の買い物	9	2.3%	8	3.0%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%
衣料品の買い物	6	1.5%	5	1.9%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%
その他の買い物	9	2.3%	8	3.0%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%
通院	17	4.3%	16	6.1%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%
公共施設での用事	5	1.3%	4	1.5%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%
金融機関での用事	1	0.3%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
趣味・娯楽	66	16.8%	46	17.4%	12	10.9%	5	45.5%	3	37.5%
家族の送迎	5	1.3%	5	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
お酒を伴う飲食	31	7.9%	19	7.2%	9	8.2%	2	18.2%	1	12.5%
旅行	101	25.7%	65	24.6%	23	20.9%	8	72.7%	5	62.5%
その他	53	13.5%	38	14.4%	10	9.1%	3	27.3%	2	25.0%
無回答	16	4.1%	10	3.8%	5	4.5%	1	9.1%	0	0.0%

※利用者アンケートは、糸魚川市外の居住者を除く。

(16)-3 乗車時間帯 (SA)

■1 回目～4 回目の合計における乗車時間帯では、回答数が最も多い「7 時」台をピークとして、以降は「12 時」台まで徐々に減少する。「13 時」以降、再び回答数が増加し、「18 時」台で 2 回目のピークを迎える。
 ■1 回目の利用では、「7 時」台を移動のピークとして「6～10 時」台の時間帯の回答数が多い。1 回目の利用について目的別にみると、「出勤、登校」、「出張」、「旅行」で「6～8 時」台に回答が多い。「通院」では「7～9 時」台、「趣味・娯楽」、「旅行」では、「7～10 時」の回答が挙がっている。「買い物」によるおでかけは、回答数が少ないが「9 時」台に回答がある。
 ■2 回目の利用では「16～20 時」の回答が多い。

乗車時間帯

時間帯	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
1回目	0	0	0	1	0	20	70	48	30	19	7	8	10	10	6	4	5	8	3	1	3	1	0	0
2回目	0	0	0	0	0	1	2	2	2	1	2	1	4	7	5	11	14	30	14	10	1	2	1	0
3回目	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	2	3	2	0	1	0	0	0	0	0
4回目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	1	2	1	0	0	0	0
合計	0	0	0	1	0	21	72	51	32	20	9	9	16	18	13	18	24	39	20	12	4	3	1	0

※利用者アンケートは、糸魚川市外の居住者を除く。

(16)-4 乗継有無 (SA)

- 1 回目～4 回目の回答数の合計では、乗継「無」の回答が 82.6%。各利用回数別にみると、各利用回数で乗継「有」と回答しているのは、各回答者数の約 1 割程度である。
- 利用目的別にみると、1 回目の利用で乗継「有」の回答が最も多いのは「出勤、登校」、次いで、「旅行」「通院」「趣味・娯楽」の順。「買い物」でも乗継「有」の回答が見られた。
- 3 回目以降では、乗継「有」の回答があったのは「旅行」である。

乗継有無

項目	全体		1 回目		2 回目		3 回目		4 回目	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
有	43	10.9%	33	12.5%	9	8.0%	1	9.1%	0	0.0%
無	327	82.6%	215	81.4%	95	84.1%	9	81.8%	8	100.0%
無回答	26	6.6%	16	6.1%	9	8.0%	1	9.1%	0	0.0%
合計	396	100%	264	100%	113	100%	11	100%	8	100%

利用目的×乗継有無

利用目的	1 回目		2 回目		3 回目		4 回目	
	乗継有	乗継無	乗継有	乗継無	乗継有	乗継無	乗継有	乗継無
出勤、登校	6	77	1	24	0	1	0	1
出張	1	21	1	9	0	2	0	0
帰宅	1	10	3	35	0	2	0	3
食料品、日用品の買い物	4	4	0	1	0	0	0	0
衣料品の買い物	4	1	1	0	0	0	0	0
その他の買い物	2	6	0	1	0	0	0	0
通院	7	8	0	0	0	0	0	0
公共施設での用事	2	0	0	1	0	0	0	0
金融機関での用事	1	0	0	0	0	0	0	0
趣味・娯楽	6	25	2	4	0	0	0	1
家族の送迎	0	4	0	0	0	0	0	0
お酒を伴う飲食	1	13	0	5	0	1	0	1
旅行	2	34	1	8	0	2	0	1
その他	7	20	1	5	1	1	0	1
無回答	1	4	0	3	0	0	0	0
合計	45	227	10	96	1	9	0	8

※利用者アンケートは、糸魚川市外の居住者を除く。

(17) 今日のバス利用について (MA・ALL) 【利・問21】

(17)-1 乗車したバス停・降車したバス停(FA)

■乗車では、「糸魚川駅アルプス口」が最も多く、次いで「糸魚川総合病院」、「小泊」、「能生案内所」、「横町五丁目」の順。回答が集中したバス停は、糸魚川市街地及び能生地区のバス停であった。10位のバス停では、仙納線沿線の「中の郷西」、「百川」や早川線沿線の「音坂」等市街地から離れた場所の回答があった。

■降車では、「糸魚川総合病院」が最も多く、次いで「能生案内所」、「糸魚川駅アルプス口」の順。降車の回答は、「糸魚川総合病院」に集中している。回答数が多いバス停は、「糸魚川総合病院」の他「能生案内所」や糸魚川駅周辺等の回答が多い。

乗車したバス停_上位10位

項目	計 (n=196)
糸魚川駅アルプス口	21
糸魚川総合病院	14
小泊	10
横町五丁目	10
能生案内所	9
南寺町三丁目	5
大和川小学校前	5
須沢南	4
北越銀行前	4
糸魚川駅日本海口	3
音坂	3
新中島	3
中の郷西	3
百川	3
四ツ角	3

降車したバス停_上位10位

項目	計 (n=196)
糸魚川総合病院	41
能生案内所	11
糸魚川駅アルプス口	10
横町五丁目	8
糸魚川駅日本海口	4
四ツ角	4
寺町一丁目	4
寺町二丁目	4
大和川	4
ショッピングセンター入口	3
寺町三丁目	3

※市内 65 のバス停に対して回答があった。

※市内 53 のバス停に対して回答があった。

(17)-2 利用目的 (MA・ALL)

■1回目～4回目の回答数の合計では「通院」が最も高く27.6%。次いで「出勤、登校」17.9%、「帰宅」12.8%。

■1回目の回答で挙がっている多様な目的に対して、2回目以降の回答では「帰宅」への回答数が少ない。

(17)-3 乗車時間帯 (SA)

- 1回目～4回目の回答数の合計では、「8時」台をピークに減少し「17～18時」にかけて回答者数が再び増加している。
- 1回目の利用は「7～10時」の時間帯が多く、特に「8時」台の回答数が多い。2回目の利用は、「11～12時」台、「18時」台で回答者数が多い。3回目、4回目では回答者数が少なく、乗車時間帯は分散している。
- 利用目的別にみると、1回目では「7～8時」で「通勤、登校」の回答が多く、「8～10時」で「通院」の回答が多い。「買い物」は「8～11時」に回答があり、「9時」台に回答が集中している。
- 2回目の利用では、12時までの午前中の時間帯は「出勤、登校」、「帰宅」、「買い物」、「通院」、「趣味・娯楽」、「金融機関への用事」への回答が挙がっている。12時以降は「17～19時」台で「帰宅」、「出勤、登校」の回答があり、「15～18時」で「公共施設での用事」への回答がある。
- 3回目、4回目の利用では、回答数が少ないが、「帰宅」、「買い物」、「通院」、「金融機関への用事」への回答が挙がった。「出勤、登校」、「出張」、「公共施設での用事」、「趣味・娯楽」、「家族の送迎」、「お酒を伴う飲食」、「旅行」への回答は0であった。

乗車時間帯

時間帯	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
1回目	0	0	0	0	0	2	13	29	19	14	8	4	7	4	1	0	7	3	1	0	0	0	0	0
2回目	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	7	9	0	2	4	4	6	7	3	0	0	0	0	0
3回目	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	1	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0
4回目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	2	13	34	21	15	17	13	8	10	5	6	14	10	4	0	0	0	0	0

利用目的×時間帯_1回目

時間帯	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
出勤、登校	0	0	0	0	0	0	12	12	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
出張	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
帰宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
食料品、日用品の買い物	0	0	0	0	0	0	2	6	2	2	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
衣料品の買い物	0	0	0	0	0	0	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の買い物	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通院	0	0	0	0	0	0	12	7	10	1	2	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
公共施設での用事	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
金融機関での用事	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
趣味・娯楽	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家族の送迎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
お酒を伴う飲食	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0
旅行	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未記入	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	2	13	34	24	15	9	4	7	4	1	0	8	3	1	0	0	0	0	0	0

(17)-4 乗継有無 (SA)

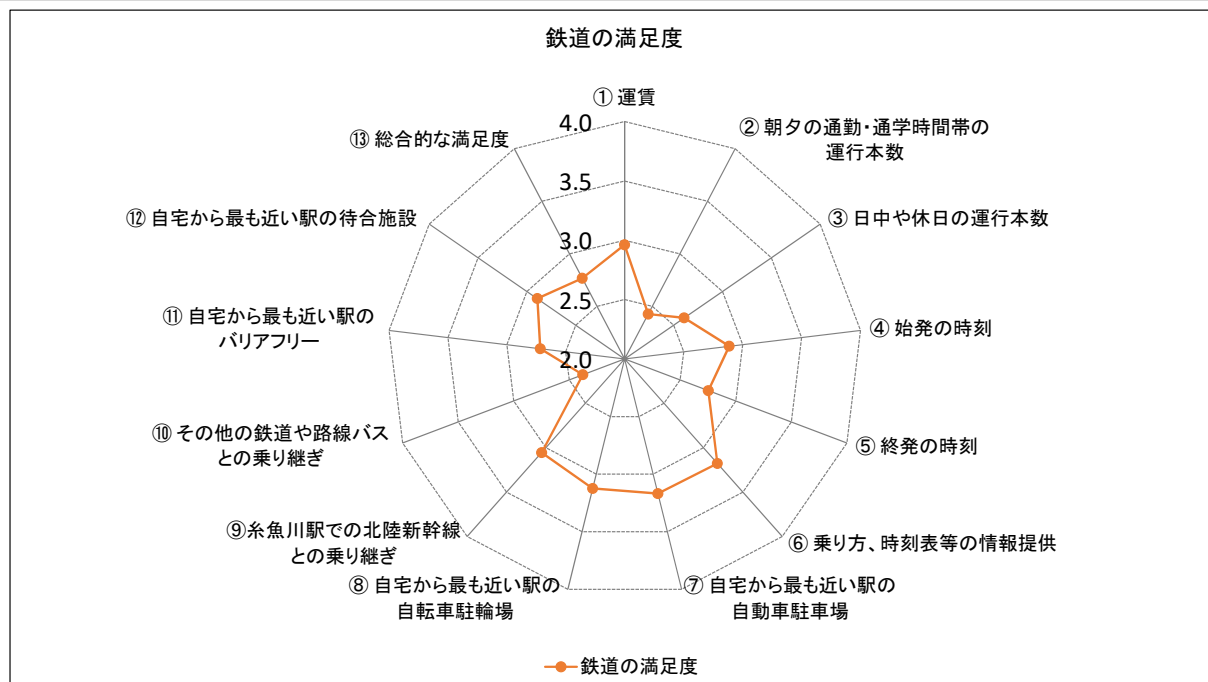
- 1回目～4回目の回答数の合計では、乗継「有」の回答が17.1%。鉄道の利用と比較すると、バスでは乗継「有」17.1%、鉄道10.9%とバスの方が鉄道よりも乗継の割合が高い。
- 利用目的別にみると、1回目の利用では乗継「有」の回答が最も多いのは「通院」、次いで、「出勤、登校」、「買い物」の順。2回目の利用では「帰宅」への回答が集中している。

(18) 市内鉄道全体の満足度 (SA) 【利・問16】

※回答に対して、「大いに満足：5点、やや満足：4点、普通：3点、やや不満：2点、大いに不満：1点」として平均値を算出した。

- 「⑥乗り方、時刻表等の情報提供」、「⑦自宅から最も近い駅の自動車駐輪場」、「⑧自宅から最も近い駅の自転車駐輪場」、「⑨糸魚川駅での北陸新幹線との乗り継ぎ」では、平均値3を得ている。
- 平均値2.5を下回っている項目は「②朝夕の通勤・通学時間帯の運行本数」、「⑩その他の鉄道や路線バスとの乗り継ぎ」であり、通勤、通学時間帯の運行本数と公共交通の乗り継ぎに関して満足度が低い

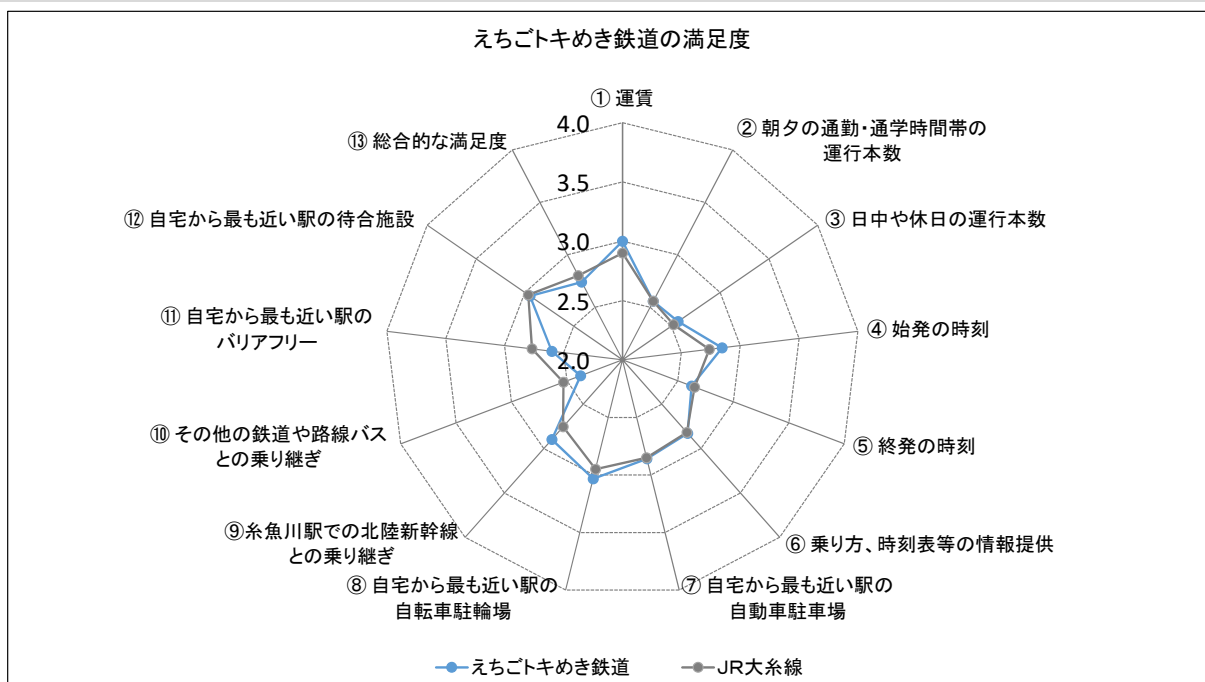
利用者アンケート 市内鉄道全体の満足度



(19) えちごトキめき鉄道の満足度 (SA) 【市・問15】

- 「①運賃」、「⑧自宅から最も近い駅の自転車駐輪場」への満足度は平均値の3を超えており、一定の満足度を得ていると考えられる。
- 「①運賃」、「④始発の時刻」、「⑧自宅から最も近い駅の自転車駐輪場」、「⑨糸魚川駅での北陸新幹線との乗り継ぎ」の項目で、JR大糸線よりも満足度が高い。
- 「①運賃」「②朝夕の通勤・通学時間帯の運行本数」、「③日中や休日の運行本数」、「⑫自宅から最も近い駅の待合施設」では、市内全体の鉄道満足度よりもえちごトキめき鉄道の満足度の方が高い。

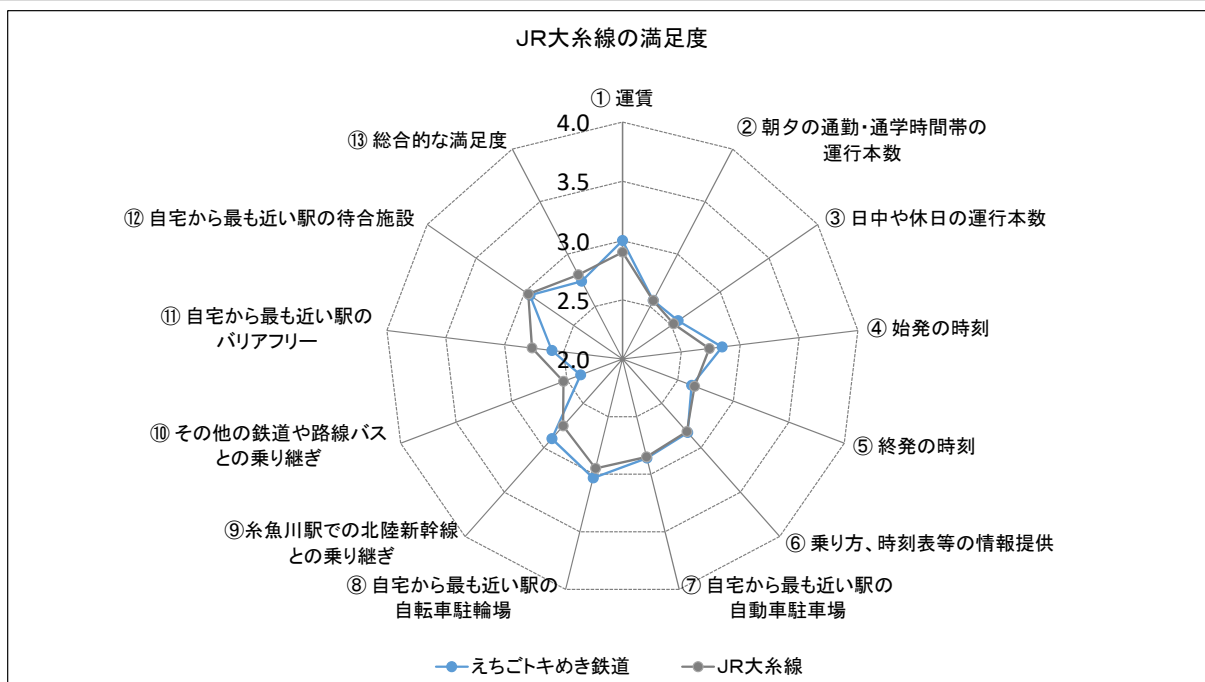
市民アンケート えちごトキめき鉄道の満足度



(20) JR大系線の満足度 (SA) 【市・問16】

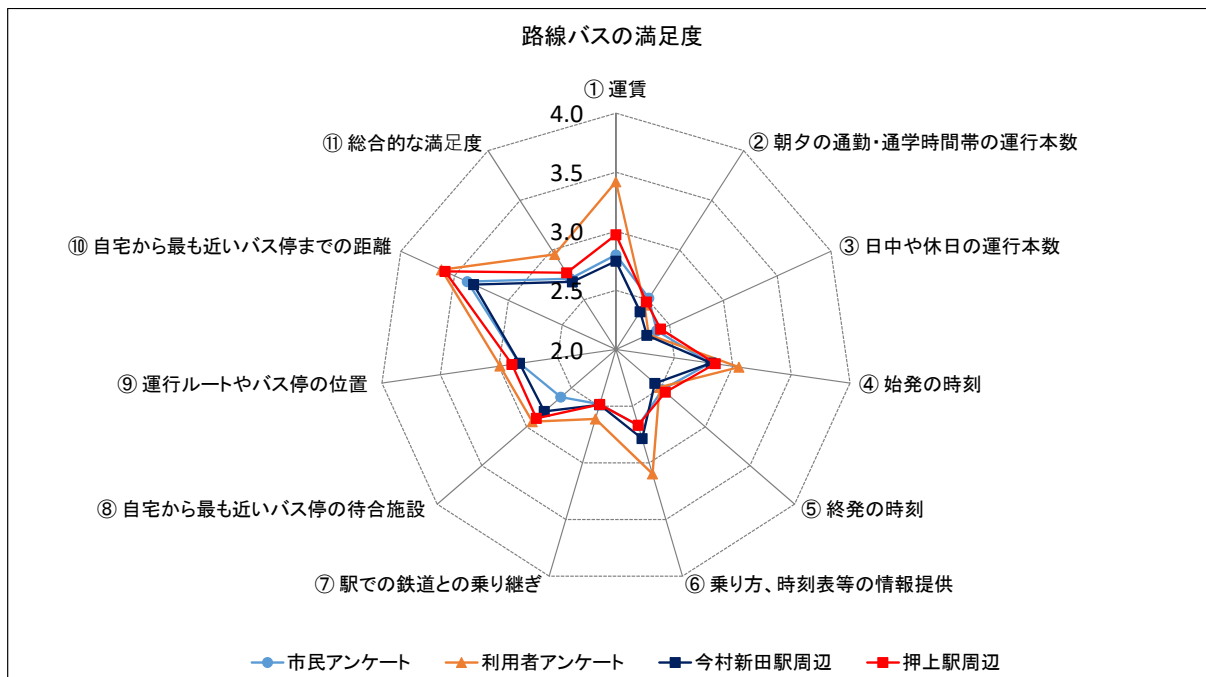
- 「⑩その他の鉄道や路線バスとの乗り継ぎ」、「⑪自宅から最も近い駅のバリアフリー」、「⑬総合的な満足度」の項目で、えちごトキめき鉄道の満足度よりも高い。
- 一方で、全ての項目で平均値3を上回る項目はない。
- えちごトキめき鉄道同様、「②朝夕の通勤・通学時間帯の運行本数」、「③日中や休日の運行本数」に関しては、市内全体の鉄道の満足度よりもJR大系線の満足度の方が高い。

市民アンケート JR大系線の満足度



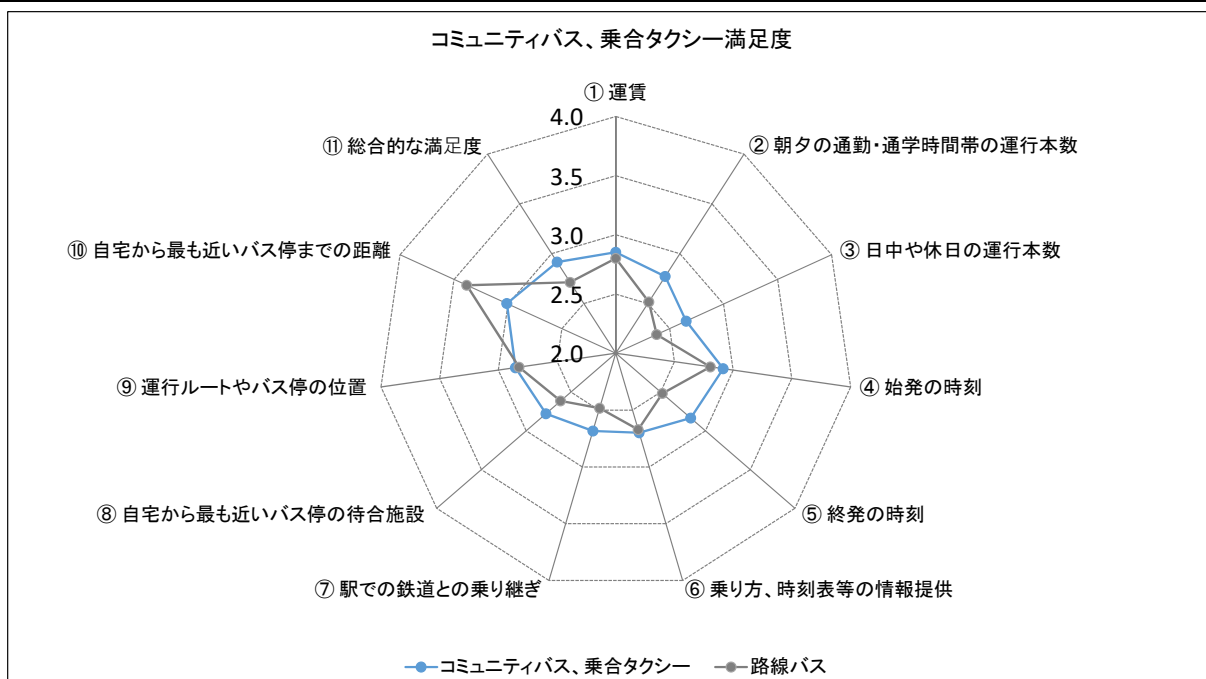
(21) 路線バスの満足度 (SA) 【共通：市・問17 利・問22 駅・問25】

- 利用者アンケートでは他アンケートよりも満足度が高い項目が多く、「①運賃」、「⑥乗り方、時刻表等の情報提供」で他のアンケートよりも満足度が突出して高い。
- 「⑧自宅から最も近いバス停の待合施設」、「⑨運行ルートやバス停の位置」、「⑩自宅から最も近いバス停までの距離」では市民アンケートよりも今村新田駅周辺、押上駅周辺の満足度の方が高い。
- 「⑪総合的な満足度」では利用者アンケートを除き、各アンケート共通して平均値3を下回っている。



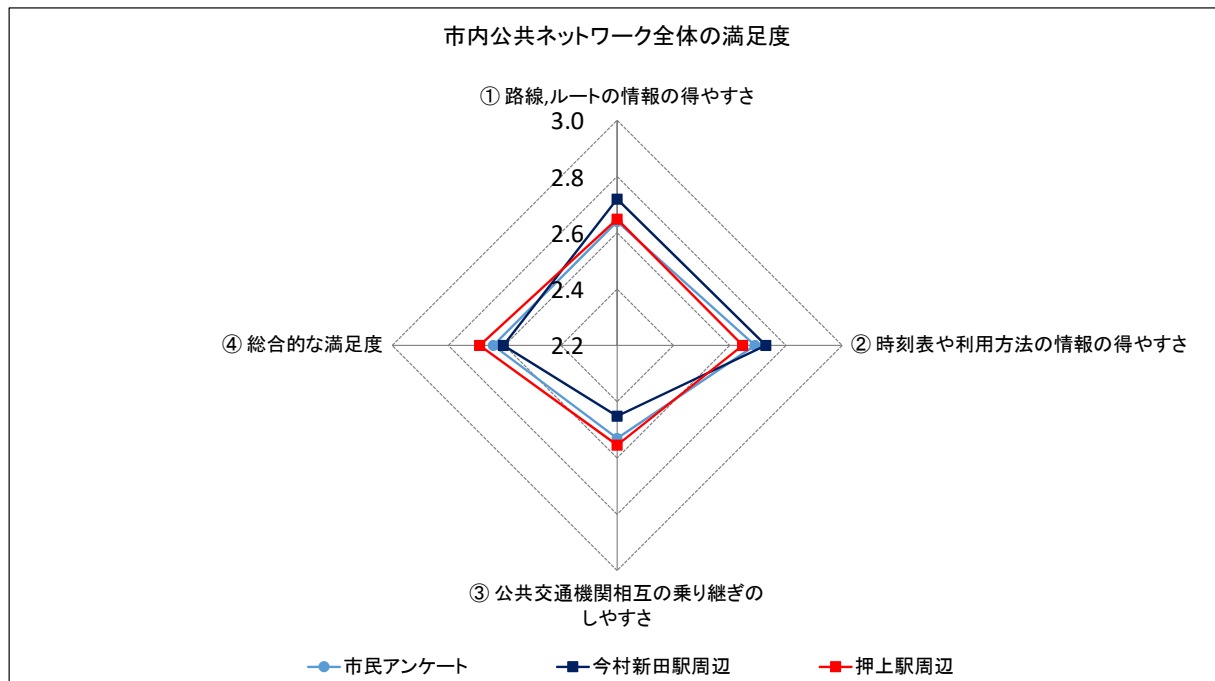
(22) 地域でのコミュニティバス・乗合タクシーの満足度 (SA) 【市・問18】

- 路線バスの満足度とコミュニティバス・乗合タクシーの満足度を比較すると、「①運賃」～「⑨運行ルートやバス停の位置」及び「⑪総合的な満足度」で路線バスの満足度を上回っている。
- コミュニティバス・乗合タクシーでは、「⑩自宅から最も近いバス停までの距離」への満足度が最も高く、平均値3を上回っている。



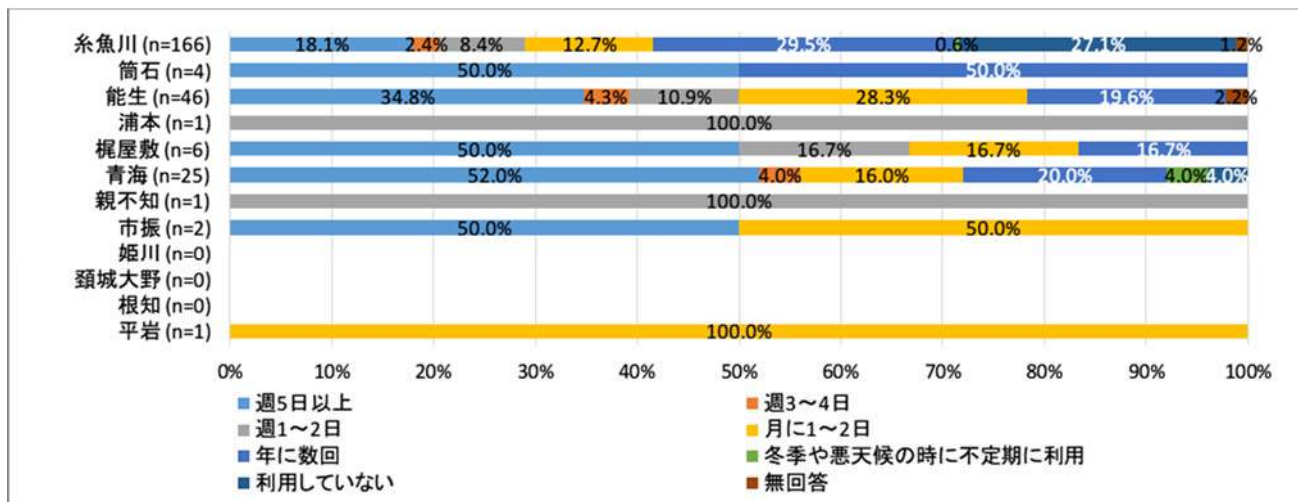
(23) 市内公共交通ネットワーク全体の満足度 (SA) 【共通：市・問19 駅・問26】

- 今村新田駅周辺では、「③公共交通機関相互の乗り継ぎのしやすさ」、「④総合的な満足度」で、市民アンケートよりも満足度が低い。押上駅周辺では、「②時刻表や利用方法の情報の得やすさ」で、市民アンケートよりも満足度の方が低い。
- 市民アンケート、新駅周辺住民アンケートで大きな変化が出ない結果となった。



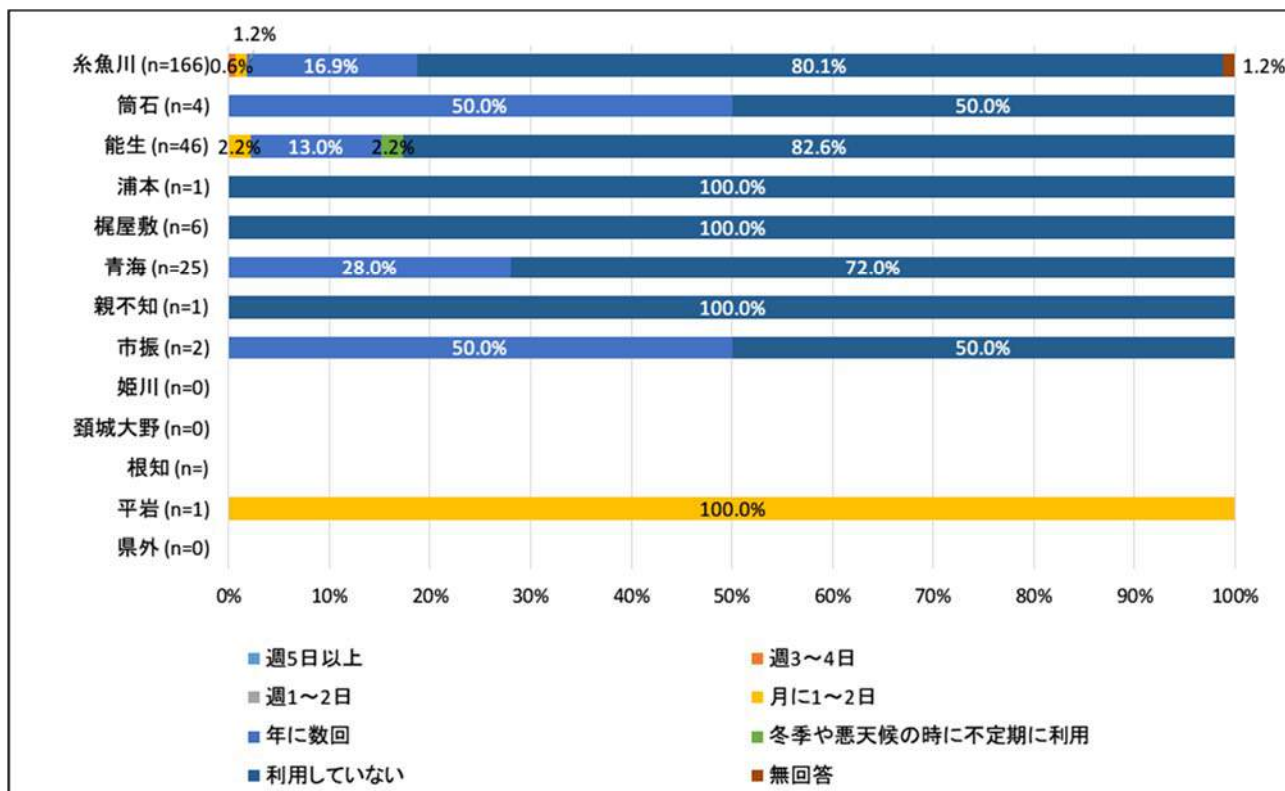
(24) えちごトキめき鉄道の利用頻度 (SA) 【共通：利・問17 駅・問10】

- 「利用していない」の割合は、利用者アンケート 26.7%、今村新田駅周辺 61.3%、押上駅周辺 68.3%であった。新駅予定地周辺では、「利用していない」の割合が、利用者アンケートよりも約4割高い。
- 「週に1~2日」以上利用しているとした回答は、利用者アンケートで21.6%、今村新田駅周辺では2.7%、押上駅周辺では0.9%であり、新駅周辺でえちごトキめき鉄道を利用している方は回答者数の0.9~2.7%。
- 「冬季や悪天候時に不定期に利用している」の回答は、各アンケート共通して1%程度である。
- 利用者アンケートについて鉄道最寄駅別に利用頻度をみると、「週5日以上」の割合が最も高いのは「青海」駅で52.0%。一方、「利用していない」割合が最も高いのは「糸魚川」駅で27.1%。



(25) JR大糸線の利用頻度 (SA) 【利・問18】

- 「週に1～2日」以上利用しているとした回答は1.0%であり、利用者アンケートでもJR大糸線を利用している方は少ない。「利用していない」が最も高く76.2%。次いで、「年に数回」12.9%であり、全体の89.1%が年に数回程度の利用であるか、または利用していない。
- 「冬季や悪天候時に不定期に利用している」の回答は全体の0.8%であった。
- 鉄道最寄駅別に利用頻度をみると、「糸魚川」駅、「筒石」駅、「能生」駅、「青海」駅、「市振」駅で「年に数回」の回答があった。



(26) 路線バスの利用頻度 (SA) 【市・問23】

- 「利用していない」が最も高く38.2%。次いで、「年に数回」12.3%である。
- 週に「1～2日」以上の利用頻度を回答した人は23.5%であり、鉄道を週に「1～2日」以上利用している割合21.6%よりも、バスの利用頻度の方が高い。
- 「冬季や悪天候時に不定期に利用している」の回答は全体の3.6%であり、鉄道の利用頻度1.0%よりも高い。

えちごトキめき鉄道の新駅計画と利用可能性について

(27) 新駅が整備されたときどのように利用したいか (MA・ALL) 【駅・問17】

- 今村新田駅周辺、押上駅周辺ともに「旅行・出張」の割合が最も高く、今村新田駅周辺 37.1%、押上駅周辺 37.4%。「利用しない」は、今村新田駅周辺 20.7%、押上駅周辺 26.4%であった。押上駅周辺では、今村新田駅周辺よりも新駅を「利用しない」とする割合が高い。
- 「買い物」、「通院・通所」、「公共施設、金融機関」等による普段のおでかけについて、今村新田駅周辺では「食料品の買い物」17.0%、「衣料品の買い物」19.0%、「通院・通所」20.9%であった。一方、押上駅周辺では、「食料品の買い物」7.1%、「衣料品の買い物」10.5%、「通院・通所」10.5%であり、新駅を普段のおでかけに利用したいとした割合は、押上駅周辺よりも今村新田駅周辺の方が高い。

新駅が整備されたときどのように利用したいか

その他内訳

項目	新駅周辺アンケート			
	今村新田駅周辺 (n=483)		押上駅周辺 (n=420)	
	回答数	割合	回答数	割合
通勤・通学	47	9.7%	31	7.4%
食料品の買い物	82	17.0%	30	7.1%
衣料品の買い物	92	19.0%	44	10.5%
通院・通所	101	20.9%	44	10.5%
公共施設・金融機関	34	7.0%	32	7.6%
趣味・娯楽	105	21.7%	72	17.1%
旅行・出張	179	37.1%	157	37.4%
利用しない	100	20.7%	111	26.4%
わからない	55	11.4%	78	18.6%
その他	25	5.2%	20	4.8%
無回答	22	4.6%	16	3.8%

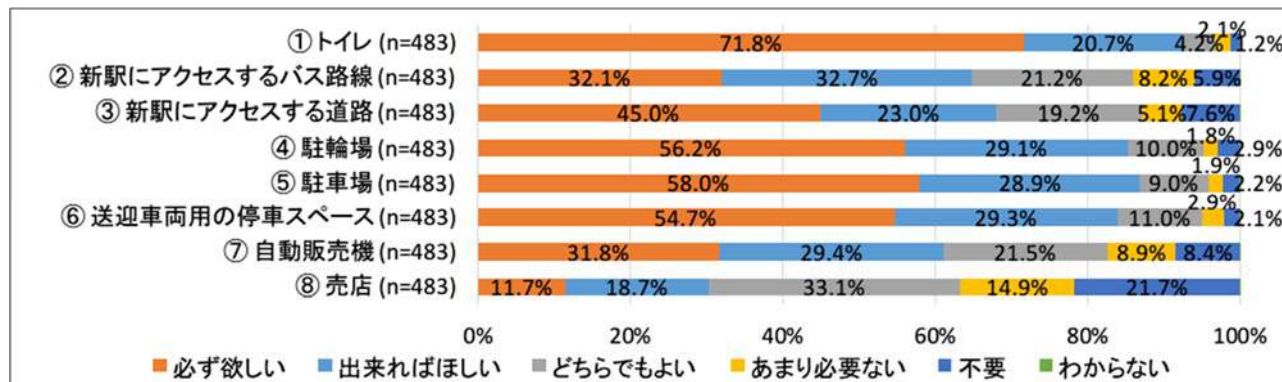
その他内訳	新駅周辺アンケート	
	今村新田 駅周辺	押上 駅 周辺
飲み会	6	6
子供が通学に利用	4	4
将来利用する	3	0
新潟方面や富山方面への 買い物	2	1
青海駅より階段が少ない 場合利用	2	0
通院	1	1
帰省	1	1
子供と一緒に利用する	1	0
子供の帰省	1	0
イベント実施時	1	0
新幹線利用	0	2
通勤	0	1
冬季等自動車が使えない 時に利用	0	1
利用しない	1	1

※MAは (回答数) / (回答者数) として割合を算出しているため、

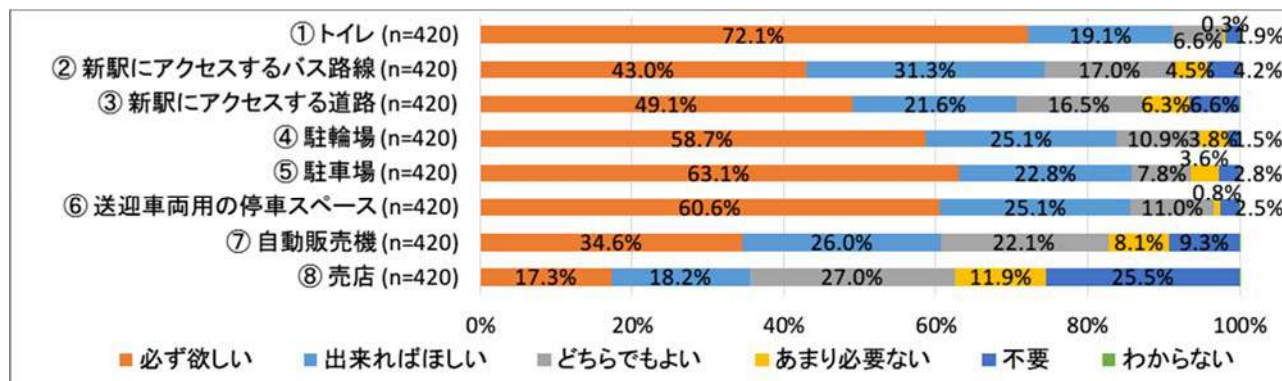
(28) 新駅周辺整備に期待する設備 (SA) 【駅・問18】

- 今村新田駅周辺では、「必ず欲しい」とした割合が最も高い項目は「①トイレ」で 71.8%。次いで、「⑤駐車場」58.0%、「④駐輪場」56.2%。「⑥送迎車両用の停車スペース」は 54.7%であった。
- 「②新駅にアクセスするバス路線」、「③新駅にアクセスする道路」の「必ず欲しい」「出来ればほしい」とする割合は、今村新田駅周辺、押上駅周辺ともに全体の約 6~7 割を占める。
- 押上駅周辺では、「必ず欲しい」割合が最も高い項目は、今村新田駅同様「①トイレ」で 72.1%。次いで、「⑤駐車場」63.1%、「⑥送迎車両用の停車スペース」60.6%。

新駅周辺整備に期待する設備 (新駅周辺アンケート:今村新田駅周辺)



新駅周辺整備に期待する設備 (新駅周辺アンケート:押上駅周辺)



(29) 新駅周辺整備に期待する設備に関する自由記述 (FA) 【駅・問19】

自由意見でいただいた意見から施設を抽出し、項目別にまとめて回答数を集計した。

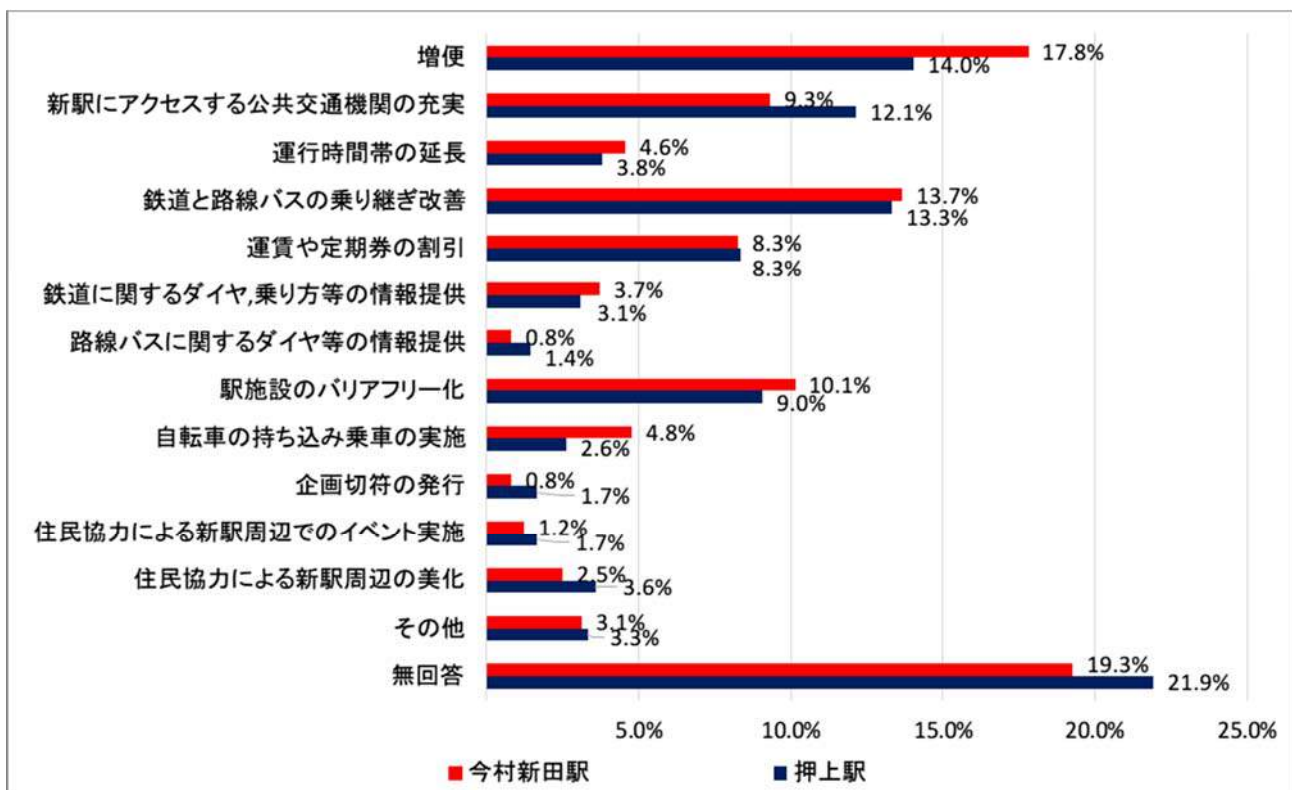
- 自由回答の内容を設備、周辺施設、周辺環境に関する記述にわけ、分析を行う。設備では、今村新田駅周辺、押上駅周辺ともに、「バリアフリー」「公衆電話」「待合室」の整備に関する記述が上位 3 位を占める。
- 周辺施設では、押上駅では「コンビニ」の回答が多い一方、今村新田駅周辺では、「喫茶店、飲食店」、「ファーストフード」といった施設の記述が多く挙がった。また、押上駅では、災害時を考慮した施設に関する意見が挙がった。
- 周辺環境では、「糸魚川総合病院へのアクセス性向上」のためのバス路線の整備に関する意見や、「周辺の道路整備」への意見が挙がった。

(30) 新駅、えちごトキめき鉄道を利用するために必要と思われること (MA・ALL) 【駅・問20】

■今村新田駅周辺では、「鉄道と路線バスの乗り継ぎ改善」が最も高く 43.1%。次いで「駅施設のバリアフリー化」35.0%、「新駅にアクセスする公共交通機関の充実」、「増便」34.8%の順。押上駅周辺では、今村新田駅周辺同様、「鉄道と路線バスの乗り継ぎ改善」が最も高く 39.3%。次いで、「新駅にアクセスする公共交通機関の充実」35.0%、「駅施設のバリアフリー化」32.6%、「増便」28.6%の順。今村新田駅周辺、押上駅周辺ともに上位に挙げた項目は同じであった。

(31) 上記(30)の内最も重要と思われること (SA) 【駅・問21】

■(30)の内最も重要と思われることでは、「増便」が最も高く、今村新田駅周辺 17.8%、押上駅周辺 14.0%。次いで、「鉄道と路線バスの乗り継ぎ改善」で、今村新田駅周辺 13.7%、押上駅周辺 13.3%。



(32) 新駅整備やえちごトキめき鉄道に関する自由記述 (FA) 【駅・問22】

■自由意見として 236 件の回答があり、「通学利用のため整備を求める意見」、「自転車の持ち込みへの期待」、「(1編成あたりの)車両増への意見」、「美化や防犯への意見」などがあった。

観光列車「雪月花」について

(33) 雪月花について (SA) 【共通：市・問20 利・問19 駅・問23】

- 雪月花を「知っている」と回答した割合は市民アンケート 64.3%、利用者アンケート 79.2%であり、市民アンケートよりも利用者アンケートの方が「知っている」割合が高い。また「知っている」割合は今村新田駅周辺 64.4%、押上駅周辺 69.8%であり、今村新田駅周辺よりも押上駅周辺の方が、「知っている」割合が高い。
- 「知っている利用したことがある」への回答は、各アンケート共通して約1%程度であり、雪月花を「知っている」ものの、利用には至っていないことがわかる。

(34) 雪月花に関する自由記述 (FA) 【共通：市・問21 利・問20 駅・問24】

- 自由回答の内容を運行、利用、周知、その他に関する記述にわけ、分析を行う。運行に関しては、「一度乗ってみたい」、「良い取り組みである」等、雪月花の運行に関して賛成の意見が挙げられた。一方、「興味がない、わからない」等の意見や、利用者アンケートでは、観光列車よりも運行車両数を増やしてほしい等「地元へのサービス向上に注力すべき」とする意見が挙げられた。
- 利用に関しては、「価格が高い」の意見や、「運行ダイヤ」や「乗継」に関して不便であるという意見が挙げられた。利用区間に関しては、運行区間内はトンネルが多いため、「運行区間を検討してはどうか」との意見も挙げられている。周知に関しては「不足している、もっとPRすべき」等の意見が挙げられた。

自由意見の集計

項目		市民アンケート (n=108)	利用者アンケート (n=232)	新駅周辺アンケート	
				今村新田駅周辺 (n=101)	押上駅周辺 (n=92)
		回答数	回答数	回答数	回答数
運行に関して	良い取り組みである	14	26	17	12
	一度乗ってみたい	32	68	18	30
	興味がない、わからない	14	35	6	4
	地元へのサービス向上に注力すべき	0	15	3	1
利用に関して	価格が高い	19	46	22	21
	ダイヤが不便	3	0	2	0
	利用区間が短い	3	9	6	5
	乗継が不便	7	9	8	9
周知に関して	PRが不足している	25	31	18	17
その他	外観が派手、汚れている	1	1	0	0
	長続きしない	0	1	0	0
	一人でも楽しめる企画をつくってほしい	0	1	0	0
	魅力が足りない	0	3	1	2
	旅館名と名前が被る	0	1	0	0
	観光客に利用してほしい	0	0	0	1
	高齢のため旅行できない	0	0	2	0

鉄道や路線バスを利用した理由について

(35) 鉄道、路線バスを利用した理由 (SA) 【利・問24】

- 「車を持っていないから」への割合が最も高く 24.0%。次いで、「ほかに手段がないから」22.4%となり、約 4 割の方が消極的な理由で鉄道、バスを利用している。
- 「お酒を飲む予定があるから」、「健康のため」、「長期の旅行や出張で駐車場代を節約したいから」、「鉄道や路線バスは便利だから」、「鉄道や路線バスを使うのが好きだから」等、公共交通を選んで利用している項目に対する回答は 38.4%。中でも「鉄道や路線バスは便利だから」の割合が最も高く、16.2%であった。

利用促進事業について

(36) おでかけパスについて (SA) 【共通：市・問22 利・問25】

- 「知っているが利用していない」と回答した人は、市民アンケート 5.5%、利用者アンケート 18.8%と利用者アンケートの方が高い。市民アンケートでは、「知っているが利用したことがない」の回答が 31.3%であり、約 3 割が知っているが利用していない。

(37) ワンコインバスについて (SA) 【共通：市・問23 利・問26】

- 「知っているが利用していない」と回答した人は、市民アンケート 7.9%、利用者アンケート 20.4%と利用者アンケートの方が 12.5%高い。「知っているが利用したことがない」の回答は、市民アンケート 49.8%、利用者アンケート 47.7%であり、回答者数の約 4～5 割程度がワンコインバスを知っているが利用していない。

(38) 「バス教室」、「路線バス出張サロンよるまいか～」について (SA) 【共通：市・問24 利・問27】

- 「知っているが利用していない」と回答した人は、市民アンケート 1.1%、利用者アンケート 1.6%と利用している割合は少ない。「知っているが利用したことがない」の回答は、市民アンケート 18.3%、利用者アンケート 15.8%であり、「バス教室」、「路線バス出張サロンよるまいか～」は、市民への認知度が低いと考えられる。

(39) 啓発チラシ「みんなでバスにのるまいか～」について (SA) 【共通：市・問25 利・問28】

- 「知っているが利用していない」と回答した人は、市民アンケート 2.6%、利用者アンケート 4.8%と利用している割合は少ない。「知っているが利用したことがない」の回答は、市民アンケート 13.2%、利用者アンケート 12.7%。「バス教室」、啓発チラシ「みんなでバスにのるまいか～」は、前述の「路線バス出張サロンよるまいか～」同様、市民への認知度が低いと考えられる。

(40) 高齢者おでかけ支援タクシー券について (SA) 【共通：市・問26 利・問29】

- 「知っているが利用していない」と回答した人は、市民アンケート 7.2%、利用者アンケート 4.6%と利用している割合は少ない。「知っているが利用したことがない」の回答は市民アンケート 44.0%、利用者アンケート 40.0%と高齢者おでかけ支援タクシー券を知っているが利用していない割合は約 4 割程度。

北陸新幹線開業効果について

(41) 北陸新幹線の利用頻度 (SA) 【共通：市・問27 利・問30 駅・問27】

- 各アンケート共通して「年に数回」が最も高く、約 4～5 割程度を占める。利用者アンケートでは他アンケートと比較して「一度も利用していない」の割合が約 2 割低い。
- 利用者アンケートでは「週 5 日以上」の割合が他のアンケートと比較して高い。今村新田駅周辺、押上駅周辺ともに、北陸新幹線の利用頻度は同じ程度である。

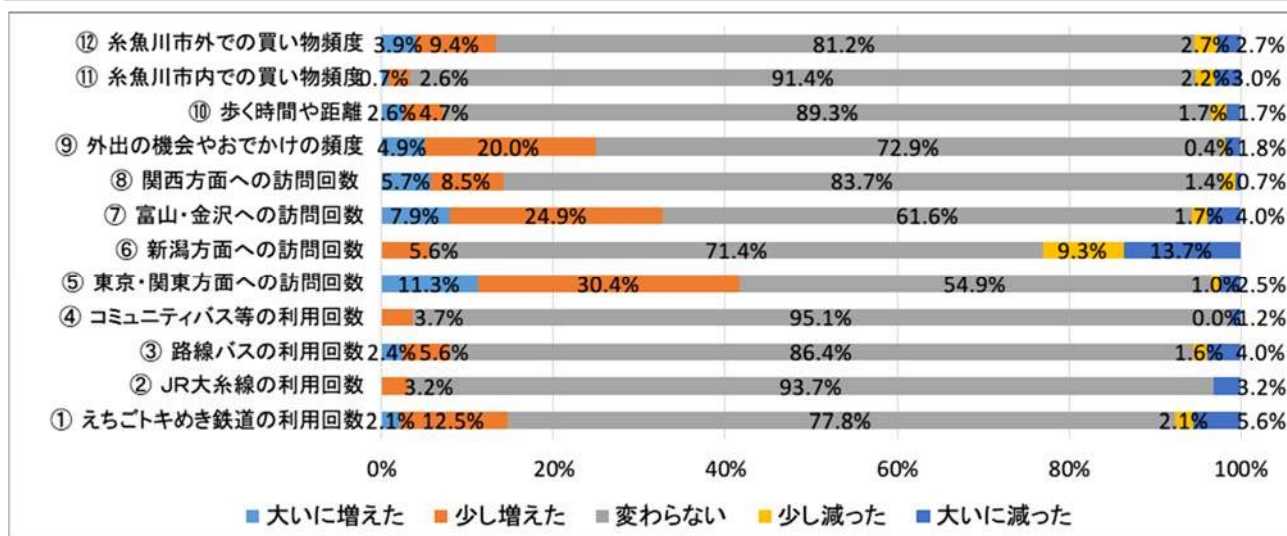
(42) 糸魚川駅までの主な移動手段 (MA・ALL) 【共通：市・問28 駅・問28】

- 「自分や家族が運転した車で、駅周辺の駐車場に駐車」への回答は、市民アンケート 49.3%、今村新田駅周辺 61.1%、押上駅周辺 60.6%であり、自動車等新幹線駅にアクセスしている割合は、市民全体よりも新駅周辺住民の方が高い。
- JR大糸線、えちごトキめき鉄道等公共交通の利用は、押上駅周辺が市民アンケート、今村新田駅周辺よりも割合が低い。今村新田駅周辺は、市民アンケートよりも「路線バス」の割合が高い。

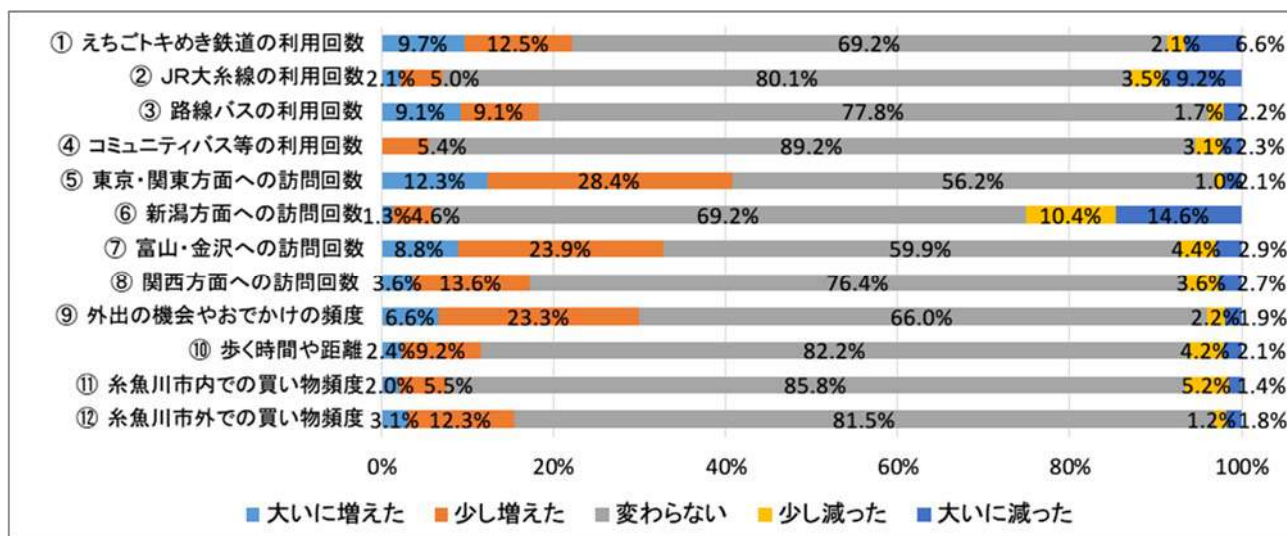
(43) 北陸新幹線が開業してからの行動の変化 (SA) 【共通：市・問29 利・問31 駅・問29】

- 市民アンケートでは、「東京・関東方面への訪問回数」、「富山・金沢への訪問回数」、「外出の機会やおでかけの頻度」に対して「増えた」とした割合が高い。特に、「東京・関東方面への訪問回数」を「増えた」とした割合は、41.7%であった。一方、「減った」の割合が高いのは、「新潟方面の訪問回数」であり、23.0%。
- 利用者アンケートでは、市民アンケートよりも「えちごトキめき鉄道の利用回数」、「JR大糸線の利用回数」等、公共交通の利用回数が「増えた」とする割合が高い。また、「歩く時間や距離」、「市内、市外での買い物頻度」についても、市民アンケートよりも割合が高い。
- 今村新田駅周辺では、市民アンケートよりも「えちごトキめき鉄道の利用回数」、「JR大糸線の利用回数」等、公共交通の利用回数が「減った」とした割合が高い。また、今村新田駅周辺、押上駅周辺ともに、市民アンケートよりも「新潟方面の訪問回数」が「減った」とした割合が高い。

北陸新幹線が開業してからの行動の変化 (市民アンケート)

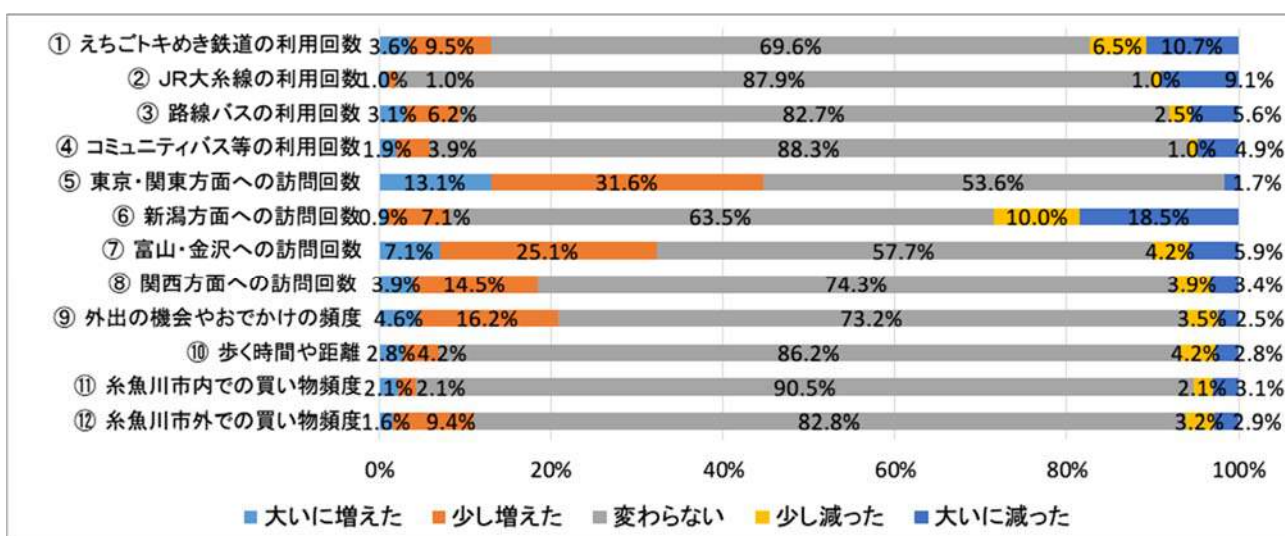


北陸新幹線が開業してからの行動の変化（利用者アンケート）

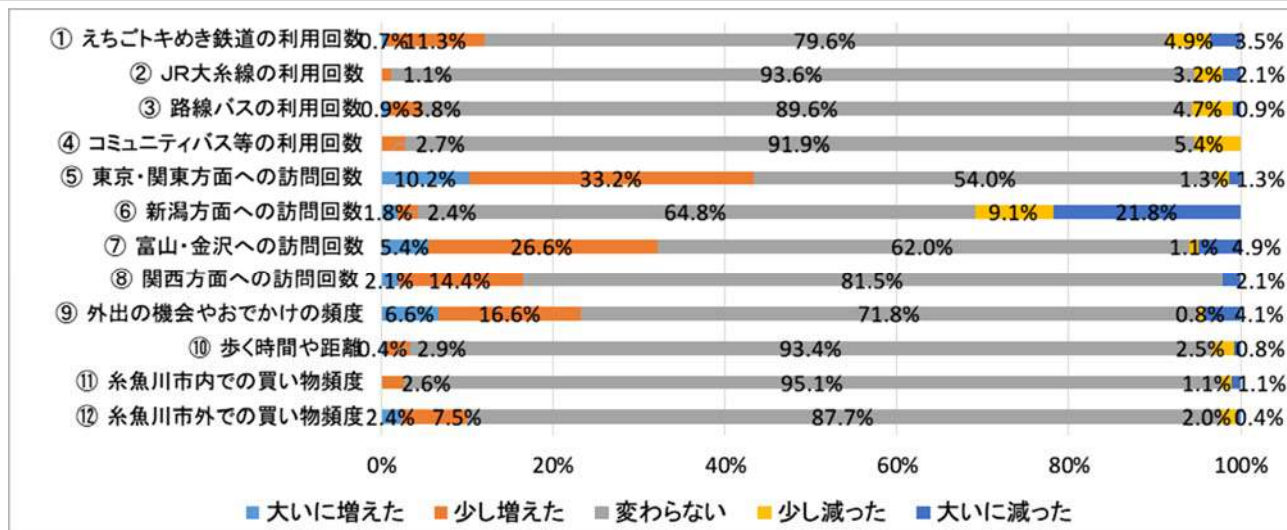


※利用者アンケートは、糸魚川市外の居住者を除く。

北陸新幹線が開業してからの行動の変化（新駅周辺住民アンケート：今村新田駅周辺）



北陸新幹線が開業してからの行動の変化（新駅周辺住民アンケート：押上駅周辺）



(44) 北陸新幹線開業後の印象に関する自由記述 (FA) 【共通：市・問30 駅・問30】

■自由意見として427件の回答があり、「東京や関東方面、金沢方面への移動はとても便利になった」、「新潟県内、特に新潟市への移動が不便になった」、「糸魚川駅が明るく便利になった」、「新幹線の便数を維持してほしい」などの意見があった。「誘客」については賛否が分かれた。

将来の交通ニーズについて

(45) バス路線の必要性 (MA・ALL) 【共通：市・問31 利・問32 駅・問31】

■各アンケート共通して、「高齢者の外出・通院に欠かせないため必要」、「学生の通学に欠かせないため必要」、「車を使えないときに利用するため必要」、「将来高齢になったときに使いたいの必要」が高い。
 ■一方で「不要」とする割合は全体的に約1割程度であり、最も「不要」の割合が高いのは、市民アンケートで11.2%。特に「車の方が便利だから不要」の回答が最も高く、5.1%である。
 ■その他では、「将来の利用や冬季の利用のため必要」とする意見が挙げられた。一方、「バスは不便なためタクシーを利用する」等の意見も挙げられた。また「バスの小型化」や「乗車しない時間帯の運行はやめるべき」、「路線は学校と病院だけでよい」等、バス路線維持のための具体的な意見が挙げられた。

バス路線の必要性

項目	市民アンケート (n=470)		利用者 アンケート (n=505)		新駅周辺アンケート				
	回答数	割合	回答数	割合	今村新田駅 周辺 (n=483)		押上駅周辺 (n=420)		
					回答数	割合	回答数	割合	
必要	学生の通学に欠かせないため必要	309	65.7%	334	66.1%	346	71.6%	315	75.0%
	高齢者の外出・通院に欠かせないため必要	366	77.9%	386	76.4%	394	81.6%	316	75.2%
	観光客やビジネス客などの来訪者の移動に欠かせないため必要	102	21.7%	129	25.5%	77	15.9%	94	22.4%
	車を使えないときに利用するため必要	237	50.4%	242	47.9%	287	59.4%	205	48.8%
	将来高齢になったときに使いたいの必要	265	56.4%	243	48.1%	268	55.5%	219	52.1%
	自動車よりも環境にやさしいので必要	48	10.2%	73	14.5%	57	11.8%	48	11.4%
	現在も使っており将来も利用したいので必要	60	12.8%	143	28.3%	70	14.5%	38	9.0%
不要	人口流出を抑えるためにも必要	78	16.6%	84	16.6%	61	12.6%	48	11.4%
	車の方が便利だから不要	24	5.1%	13	2.6%	13	2.7%	8	1.9%
	公共交通は使わないので不要	11	2.3%	7	1.4%	10	2.1%	6	1.4%
その他	18	3.8%	12	2.4%	7	1.4%	7	1.7%	
その他	6	1.3%	10	2.0%	4	0.8%	3	0.7%	
無回答	39	8.3%	37	7.3%	33	6.8%	34	8.1%	

※MAは(回答数)/(回答者数)として割合を算出しているため、合計が100%にならない

(46) バス路線のサービスの在り方 (SA) 【共通：市・問32 利・問33 駅・問32】

- 各アンケート共通して、「補助金（税金）を引き続き投入し、現在のサービス水準のままで維持すべき」、「補助金（税金）をより多く投入し、路線数や運行本数を増やすべき」が高く、税金を投入しても、現在の公共交通のサービス水準を維持、または向上するべき、とした考えの方が多いと考えられる。
- その他の回答では、予算の縮小を目的とした車両の小型化や運行時間帯の検討等、「利用状況に合わせて移動手段、運行頻度を検討し、路線は維持すべき」とする意見が挙がった。一方で、「バス運行の現状がわからない」とする意見も挙がっている。

バス路線のサービスの在り方

項目	市民アンケート (n=470)		利用者アンケート (n=505)		新駅周辺アンケート			
					今村新田駅周辺 (n=483)		押上駅周辺 (n=420)	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
補助金（税金）をより多く投入し、路線数や運行本数を増やすべき	75	16.0%	83	16.4%	74	15.3%	48	11.4%
補助金（税金）を引き続き投入し、現在のサービス水準のままで維持すべき	186	39.6%	204	40.4%	203	42.0%	169	40.2%
運賃を値上げして、路線やサービス水準を維持、向上すべき	14	3.0%	17	3.4%	11	2.3%	17	4.0%
サービス水準は下げ、補助金（税金）投入を抑制すべき	9	1.9%	20	4.0%	11	2.3%	13	3.1%
収支状況の著しく悪い路線から廃止して別の移動手段を検討すべき	62	13.2%	61	12.1%	60	12.4%	56	13.3%
その他	27	5.7%	28	5.6%	27	5.6%	33	7.9%
利用頻度に合わせて移動手段、運行頻度を検討し、路線は維持すべき	11	2.3%	14	2.8%	12	2.5%	16	3.8%
わからない	3	0.6%	4	0.8%	7	1.4%	9	2.1%
その他の回答	13	2.8%	10	2.0%	8	1.7%	8	1.9%
無回答	97	20.6%	92	18.2%	97	20.1%	84	20.0%
合計	470	100%	505	100%	483	100%	420	100%

※利用者アンケートは、糸魚川市外の居住者を除く。

(47) バス路線の再編のイメージ (MA・ALL) 【共通：市・問33 利・問34 駅・問33】

- 再編のイメージでは、各アンケート共通して、「現在の利用状況に見合った路線を検討し、幹線バスと支線（枝線）バスに再編するのがよい」、「運行本数が増え、待ち時間が短いならバスの乗換をしてもよい」への回答が多く、それぞれの回答者の約3～4割が回答している。
- 今村新田駅周辺、押上駅周辺では、市民アンケートよりも「南北方向の路線が増えるなら東西方向の移動は鉄道を利用してもよい」への割合が高い。市内でも鉄道への利用抵抗が低い地区であるといえるため、新駅周辺住民による鉄道の利用は期待できる。一方で、今村新田駅周辺、押上駅周辺では、「運行本数が増え、待ち時間が短くてもバスの乗換をしたくない」への割合が各アンケートよりも低く、乗り換えへの抵抗は大きいと考えられる。
- 利用者アンケートでは、「運行本数が増え、待ち時間が短くてもバスの乗換をしたくない」への割合は各アンケートよりも高く、現在の公共交通利用者に関しては、乗継の待ち時間が短くても、乗り換えをしたくない。

バス路線の再編のイメージ

項目	市民アンケート (n=470)		利用者アンケート (n=505)		新駅周辺アンケート			
					今村新田駅周辺 (n=483)		押上駅周辺 (n=420)	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
運行本数が増え、待ち時間が短いならバスの乗換をしてもよい	151	32.1%	197	39.0%	164	34.0%	118	28.1%
運行本数が増え、待ち時間が短くてもバスの乗換をしたくない	66	14.0%	72	14.3%	64	13.3%	43	10.2%
南北方向の路線が増えるなら東西方向の移動は鉄道を利用してもよい	33	7.0%	62	12.3%	54	11.2%	44	10.5%
東西方向の移動で鉄道を利用したくないので南北方向の路線は増やさなくてよい	10	2.1%	8	1.6%	13	2.7%	3	0.7%
現在の利用状況に見合った路線を検討し、幹線バスと支線（枝線）バスに再編するのがよい	160	34.0%	192	38.0%	193	40.0%	180	42.9%
将来的な需要が見込める区間を調査し、新規に路線を設けるのがよい	83	17.7%	96	19.0%	84	17.4%	95	22.6%
その他	27	5.7%	19	3.8%	21	4.3%	22	5.2%
利用頻度に合わせた移動手段、運行頻度を検討し、路線は維持すべき	4	0.9%	3	0.6%	6	1.2%	3	0.7%
わからない	9	1.9%	7	1.4%	6	1.2%	5	1.2%
その他の回答	14	3.0%	9	1.8%	9	1.9%	14	3.3%
無回答	104	22.1%	83	16.4%	81	16.8%	83	19.8%

※MAは（回答数）/（回答者数）として割合を算出しているため、合計が100%にならない
 ※利用者アンケートは、糸魚川市外の居住者を除く。

(48) 糸魚川市の公共交通について自由記述 (FA) 【共通：市・問34 利・問35 駅・問34】

- 自由意見として 583 件の回答があった。
- 「課題はあるが、学生や通勤通学利用のために公共交通は必要」、「いずれ（自分が高齢者になり）使うと思うので維持してほしい」、「通院のために必要」、「観光客等のためにも公共交通は維持すべき」など公共交通の維持に賛同する意見が多い。「不便にならないような再編」を求める意見もあった。
- 一方で、「駅の待合室やバスの待合場所を整備してほしい」、「乗客の少ないバス路線は小型車両で良い」、「えちごトキめき鉄道の車両数が減ったこと、少ないことへの不満（特に1両編成に対し）」、「鉄道、バスの運行本数への不満」、「バスの運賃が高い印象」、「路線がわかりにくく、時刻表等の利用するための情報が不十分」、「車両や移動経路のバリアフリー化」など改善点を具体的に指摘する意見があった。
- えちごトキめき鉄道の車両数減については「通学時には全く座れない、勉強ができない」などの学生からの意見が多い。
- 個別路線、特定地域への具体的な要望があった。
- 「今は利用していないので」と記載する方が一定数あった。
- 財政面の課題等、市の公共交通の現状について一定の理解が得られたように思われる。